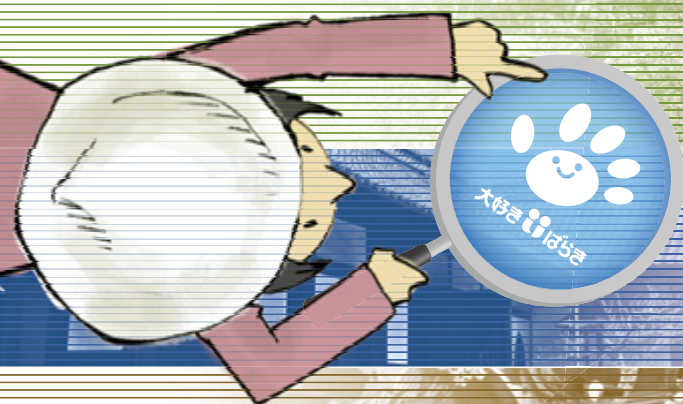


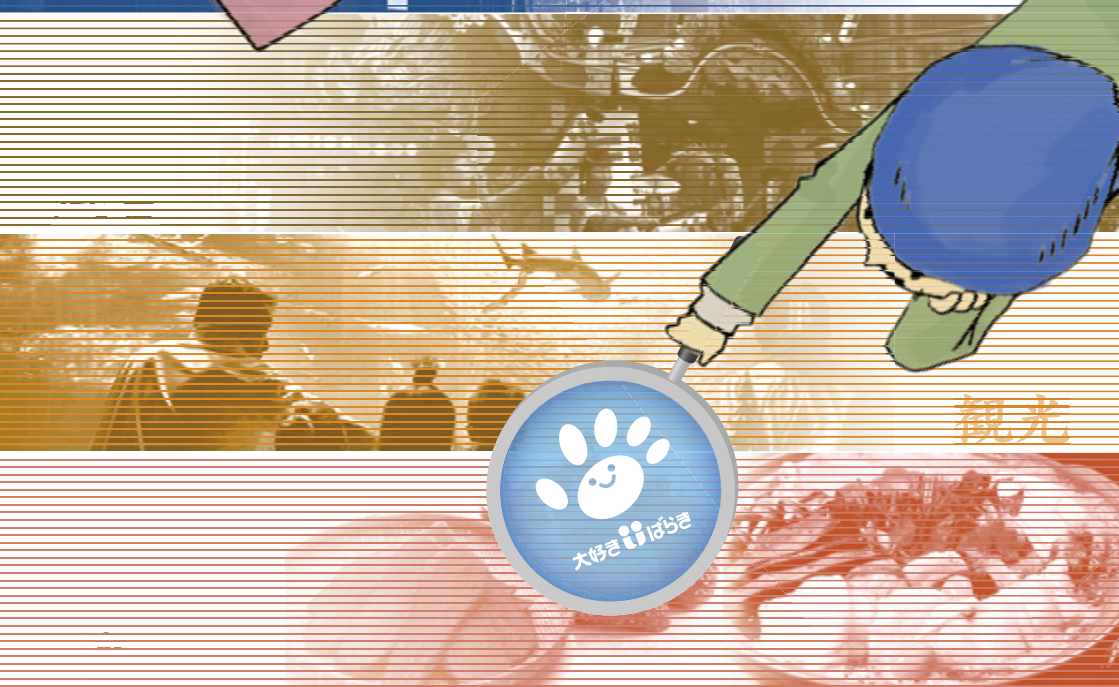
いばらきの魅力再発見

大好き いばらき

ふるさと自慢



歴史



観光

大好き いばらき 県民会議

いばらきの魅力再発見

大好き いばらき ふるさと自慢

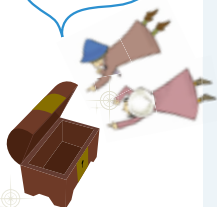
私たちのふるさと『いばらき』は、文化、歴史、産業、食など、様々な魅力であふれています。

身近にある地域の魅力を発信することによって、ふるさとの資源を再発見していただくとうと、このたび、ネットワーカー（県民運動地域推進員）が中心になり一冊の本を作りました。

この本を通じて、『いばらき』をより一層好きになっていただけたら幸いです。

いばらきの魅力を再発見することによって…

新たな
地域の資源を
掘り起こす！



ふるさとへの
愛着心・誇りを
育てる！

県民一人一人が
ふるさとを
PRする！



いばらきの
イメージアップに
つながる！





「共に創ろう 愛されるいばらき」

大好き いばらき 県民会議は、共生・共創・共援の三つの理念のもと、福祉社会づくり、生活環境づくり、人づくり、茨城の風土づくりの四つを運動の柱に、幅広い県民運動の推進に取り組んでおります。

各地域で行われているさまざまな活動の応援役・推進役として、多くの県民の皆様とともに、「生まれてよかった」「住んでよかった」と実感できる茨城づくり、やさしさとふれあいのある茨城づくりを目指しております。

さて、本県には、常陸風土記に遡る古い歴史や文化、豊富な海の幸や山の幸、つくばの最先端技術のほか、私達の身近などところにも数多くの魅力があります。

本冊子は、大好き いばらき 県民運動を各地で展開しているネットワークカー（県民運動地域推進員）が、それぞれの地域の魅力を読者の皆さんに紹介する内容となっておりです。中には、一般にはあまり知られていないようなものもありますので、楽しく読んでいただけたと思います。

44市町村それぞれの郷土のすばらしさを、本書を通じて多くの皆様に再認識していただき、郷土いばらきをより一層好きになつていただきたいと思います。

最後に、ネットワークカーをはじめ、本書の作成にあたりご協力をいただきました皆様に深く感謝申し上げます。

平成23年12月

大好き いばらき 県民会議 理事長 幡谷浩史

県北

- 【日立市】大好きひたちネットワーク P.2
- 【常陸太田市】大好きおおたネットワーク P.10
- 【高萩市】高萩市ネットワーク P.11
- 【北茨城市】大好き北茨城ネットワーク協議会 P.12
- 【ひたちなか市】ひたちなか市ネットワーク連絡協議会 P.17
- 【常陸大宮市】常陸大宮市ネットワーク協議会 P.21
- 【那珂市】那珂市ネットワーク連絡協議会 P.22
- 【東海村】大好きいばらき東海村地域推進会議 P.36
- 【大子町】大子町ネットワーク協議会 P.37

県西

- 【古河市】古河市ネットワーク等連絡協議会 P.4
- 【結城市】結城市ネットワーク等連絡協議会 P.6
- 【下妻市】下妻市ネットワーク等連絡協議会 P.8
- 【常総市】ネットワーク常総市 P.9
- 【筑西市】筑西市ネットワーク協議会 P.23
- 【坂東市】坂東市ネットワーク連絡協議会 P.24
- 【桜川市】桜川市ネットワーク協議会 P.27
- 【八千代町】八千代町ネットワーク等連絡協議会 P.41
- 【五霞町】五霞町ネットワーク連絡協議会 P.42
- 【境町】境町ネットワーク等連絡協議会 P.43

ネットワーク協議会等

MAP



県央

- 【水戸市】水戸市ネットワーク連絡協議会 P.1
- 【笠間市】大好きかさまネットワーク連絡協議会 P.13
- 【小美玉市】小美玉ネット P.32
- 【茨城町】茨城町ネットワーク等連絡協議会 P.33
- 【大洗町】大洗町ネットワーク P.34
- 【城里町】城里町ネットワーク P.35

県南

- 【土浦市】土浦市ネットワーク等連絡協議会 P.3
- 【石岡市】ネットワーク石岡 P.5
- 【龍ヶ崎市】ネットワークドラゴンズ P.7
- 【取手市】取手市ネットワーク等連絡協議会 P.14
- 【牛久市】牛久市ネットワーク連絡協議会 P.15
- 【つくば市】茅崎ネットワークの会 P.16
- 【守谷市】守谷市ネットワーク連絡協議会 P.20
- 【稲敷市】稲敷市ネットワーク P.25
- 【かずみがうら市】霞ヶ浦地区ネットワーク等連絡協議会 P.26
- 千代田地区ネットワーク等連絡協議会
- 【つくばみらい市】つくばみらい市ネットワーク等連絡協議会 P.31
- やわらネットワーク連絡協議会
- 【美浦村】大好き美浦村ネットワーク協議会 P.38
- 【阿見町】阿見町ネットワーク協議会 P.39
- 【河内町】河内町ネットワーク P.40
- 【利根町】利根町ネットワーク協議会 P.44

鹿行

- 【鹿嶋市】ネットワークかしま P.18
- 【潮来市】潮来市ネットワーク連絡協議会 P.19
- 【神栖市】ネットワークかみす P.28
- 【行方市】行方市ネットワーク P.29
- 【鉾田市】鉾田市ネットワーク等連絡協議会 P.30



目次



- | | | |
|----|--------|---|
| 1 | 水戸市 | 絆を結ぶ 花の街 |
| 2 | 日立市 | 産業遺産の宝庫「ひたち」 |
| 3 | 土浦市 | 郷土を見守る老桜 ～ 真鍋の桜 ～ |
| 4 | 古河市 | もりもりクラブ
市民のこころのふるさとを目指して |
| 5 | 石岡市 | 石岡のおすすめスポット |
| 6 | 結城市 | 歴史と伝統のまち結城 |
| 7 | 龍ヶ崎市 | “福祉のまちづくり”を龍ヶ崎市街地の中で
～社会福祉協議会中央支所・交流サロンリゅう・
福祉の店リゅうがオープン～ |
| 8 | 下妻市 | 花のまちのおいしいもの |
| 9 | 常総市 | アイデアを叶える仲間 |
| 10 | 常陸太田市 | 「赤レンガと銀杏まつり」と
「愛子おばあちゃんのひょうたんランプ」 |
| 11 | 高萩市 | ロケの街 高萩を目指して |
| 12 | 北茨城市 | 文化と自然、今昔 |
| 13 | 笠間市 | 古今悠々かさま |
| 14 | 取手市 | 街全体が美術館!? アートタウン取手 |
| 15 | 牛久市 | 素敵なお会い! 「ふれあいパーティー」について |
| 16 | つくば市 | ネットワーク活動の紹介 |
| 17 | ひたちなか市 | ひたちなか海浜鉄道で行く
歴史スポット那珂湊 |
| 18 | 鹿嶋市 | かしま少年少女合唱団「虹Kids」
心をつなぐ歌声響かせて |
| 19 | 潮来市 | 稲荷山公園 |
| 20 | 守谷市 | 町内は皆一家 ～安全・安心なまちづくり・
終の棲家をめざして～ |
| 21 | 常陸大宮市 | 常陸の国をまなぶ会「収穫祭と ^{らくまい} 楽舞」 |
| 22 | 那珂市 | NPO法人 夢AKARIと協議会との協働による
「静峰ふるさと公園」でのイベントと景観づくり |
| 23 | 筑西市 | 地域をこえ 市民の心の絆が深まって |



- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 24 | 坂東市 | 菅生沼の小さな花々 |
| 25 | 稲敷市 | 米どころ稲敷市 自慢の一品「稲しきのあげ餅」 |
| 26 | かすみがうら市 | 雄大な霞ヶ浦と自然豊かな里山 |
| 27 | 桜川市 | 「やまゆり」の里づくり |
| 28 | 神栖市 | 小学生が郷土の無形文化財
「ささら舞」受け継ぐ |
| 29 | 行方市 | 玉造生活大学
「手賀地区から眺める霞ヶ浦と自慢の一品」 |
| 30 | 銚田市 | <small>もみやまはるばやし</small>
縦山春囃子保存会 |
| 31 | つくばみらい市 | 花と歴史かおる街 つくばみらい |
| 32 | 小美玉市 | 豊かな自然と空の玄関・茨城空港 |
| 33 | 茨城町 | 朝もやの溷沼と夕照の筑波を眺める |
| 34 | 大洗町 | 大洗さまの祭事と民謡磯節 |
| 35 | 城里町 | 城里町の紹介 |
| 36 | 東海村 | 水戸藩郡奉行所の記録 文化六年 石神組御用留 |
| 37 | 大子町 | <small>ぼんてんざい</small>
八溝山の梵天祭と下野宮の御田植祭 |
| 38 | 美浦村 | 霞ヶ浦のほとり
「馬掛」からの霞ヶ浦眺望 |
| 39 | 阿見町 | 阿見町へいらっしゃい！ |
| 40 | 河内町 | おかずのいらないかわちのお米 |
| 41 | 八千代町 | 「自立をめざして！」
地域に密着した活動を展開中☆ |
| 42 | 五霞町 | 私たちの大好きな五霞町 |
| 43 | 境町 | 地域の縁結びサポーター |
| 44 | 利根町 | 人がふれあう夏の風物詩
～ 灯篭流し・町民納涼花火～ |
| 45 | 平成23年度 大好き いばらき ふるさと自慢大会 結果報告 | |
| 47 | 大好き いばらき 県民会議の概要 | |
| 48 | 私が選ぶふるさと自慢 | |



さあ、
各地のふるさと自慢を

巡ってみよう！



絆を結ぶ 花の街

水戸市に「街を花と緑でいっぱいにする会」が発足して20年。

また、水戸市の中心街を花で飾ろうと、今から5年前、花壇作りが始まりました。

水戸駅北口の商店街。活動の中心となっている南町の有志の方々が集まり、「はなふる応援隊」ができました。

商店50軒。デザイン、苗選び、土、肥料と商店の役員の方が相談し、年二回、春と秋に植栽することになりました。水戸市、水戸市植物公園、一般のボランティア、商店の方々の協力でスタートしました。



植栽するボランティアの人たち



人通りが多くなり、街の中が、色とりどりの花で、美しくなりました。銀行員の20代の方は、初めての土いじり、大きな穴を開けて苗を植える。みな笑顔で言葉が弾み、5千鉢のポットも、いつの間にか植え込み完成。買い物中の人から、「きれいですね。みなさんが植えているのですか。感謝します。」の一言で、どっと出ていた汗も落ちます。

南町商店街のすばらしい花壇に続いて、輪が広がり、泉町商店街も特注の大きな木製のコンテナ36個に植栽することになりました。

南町商店街は、2007年、全国花の街コンクールにおいて見事に優秀賞を受賞しました。（財団法人日本花の会主催）

商店街の方々の横のつながりは強く、水やり、除草、花から摘みと自主的に、自分のお店以外も手を伸ばし、いつも生き生きと咲いていて、水戸の自慢の街としてよみがえりました。

ボランティアの会員も年々増え、64名になり、水戸市以外の笠間市、石岡市、ひたちなか市からも応援にきてくれています。

水戸駅から東の本町商店街も参加することになり、次々と花の輪が広がりました。花好きな仲間が増え、若い方も年配の方も仲良くなり、花に触れ、やがて友達になつて楽しみがいっぱいになりました。

本町では、午後からの作業終了後、買い物と会話もはずみ、市街地の活性化にも役立っています。街の中を車で走り、花壇を見るのも楽しみの一つになりました。今年も、節電、節水が求められましたが、花だけは水をまき元気づけた。いつ通っても、生き生きとした花に出会えるようにしてほしいです。

メッセージ

花はオアシス

夏の暑さに負けず咲いている花を見る、精一杯に生きようとしている様子に元気が出ます。花には見る人を元氣付ける不思議な魔力があります。

花を通して、人と人の出会いが、あり会話も弾みます。

植え込みが終わった花壇(南町商店街)



花のある街には、よい店、よい品、よい人がたくさんいます。

花はひとの心を楽しませ、人の絆を結ぶ大切な役目を持っています。来年も再来年も、商店街を花で飾り、笑顔に満ちた元気な街、人が行き交う活気あふれる街にしたいです。
(会沢良子記)

association profile

団体名	水戸市ネットワークーカード連絡協議会
設立年	平成22年
会長名	郡司 敏枝
会員数	63名
主な活動	・会員相互の情報交換 ・大好き いばらき 県民運動への参加 ・研修会の開催 ・その他

※平成23年度 大好き いばらき 県民運動大会出場
詳しくは45ページ参照

産業遺産の宝庫「ひたち」



産業遺産

「大煙突」「共楽館」

市民と企業が協働で大正4年に煙害を克服した大煙突は日立のシンボルでした。また常陸風土記に鮭のさかのぼる川と記された介川（現在の宮田川）が谷間に入るところに緑に囲まれた共楽館は日立市民の癒しの場でした。



かつての大煙突の勇姿

共楽館は日立市が鉾工業都市として発展の礎を築いた日立鉾山の福利厚生施設として大正6年に完成。建設に携わったのは鉾山の技師と工作課のみなさんです。東京の歌舞伎座や帝劇を視察し最先端の技術を学び、鉾山ならではの技法を駆使しています。現存する鉾山の関係の小屋は小坂町（秋田県）の康楽館と日

立の共楽館のみです。産業遺産として貴重な存在です。

共楽館は日立鉾山の従業員やその家族の施設のみではなく、広く日立市民にも開放した日立の文化発信基地でした。一五世市村羽左衛門、六代目尾上菊五郎などの名優も来演しています。戦後の映画の黄金時代には安い入場料で多くの名画を上映しています。歌舞伎、素人芝居、映画などのほかに相撲の地方巡業の勧進元にもなっています。学校教育との関わりでは、昭和3年に日立児童映画教育会が設立され、月一回の映画会を開催、また学芸会や音楽鑑賞会なども行われ情操教育に大きな役割を果たしていました。



宮田川と緑に囲まれた共楽館

平成11年に国の登録文化財、平

成21年には日立市の指定文化財となり、約4億円をかけて雨漏りや耐震工事を行った直後の東日本大震災では損傷も軽微でした。

NPO法人共楽館を考える集い

日立のシンボル大煙突が三分の一を残して倒壊したのは平成5年2月19日、奇しくもこの日に共楽館の復元・活用を目指して「集い」が発足しました。

全国的な視点を常に忘れず活動するために「全国芝居小屋会議」「全国町並み保存連盟」に加盟し、全国町並み保存連盟幹事会や全国芝居小屋会議を日立市で開催するなど全国の仲間と活動しています。

昭和42年に日立鉾山から日立市に寄贈された時に舞台や桟敷席が取り払われ武道館に姿を変えました。

この貴重な共楽館をまちづくりの核に据えた産業遺産による新たなまちおこしを目指して活動しています。さくら・大煙突・カラミ・日鉾記念館・小平記念館・創業小屋など日立には手つかずの遺産を数多く抱えています。宮田川を遡ると限りなく展開する産業遺

産。これをグリーンバレー構想と呼び、新たな大きな課題として取り組んでいます。

（資料提供 NPO法人共楽館を考える集い）

association profile

団体名 大好きひたちネットワーク

設立年 平成17年

会長名 柴田 親昌

会員数 40名

主な活動

- ・あいさつ運動
- ・海岸清掃
- ・花いっぱい運動
- ・交通安全運動
- ・青少年の地域活動への参加促進等



改修後、最初の音楽を楽しむ

郷土を見守る老桜

真鍋の桜



北風の吹く寒い冬が終わり、希望に満ちた春が訪れると、私たちの街「土浦」には、人々に喜びと勇気を与えてくれる花が咲きます。それは、昭和32年、県の天然記念物に指定された「真鍋の桜」です。

霞ヶ浦を見下ろす台地にしっかりと根を張り、真鍋小学校の校庭の中央に横一線に巨木が並んでいます。その一本一本が、毎年4月には、枝もたわわに薄桃色の花を開花します。その様は、壮観そのものです。漢詩の一節「山紫水明の地に、偉人現る。」の感を感じる光景です。



この桜は、明治40年に小学校がこの地に移設された時、卒業生が記念として植樹した「染井吉野」です。ですから、植樹されて104年の齢を重ねていることになりました。この桜の寿命は、60、80年と言われています。それから考えると、その生命力のすばらしさにいつも感動をもらえます。また、校庭に在り、これまで何千、何万という子ども達を見守り、見送ってきた桜です。

震災や戦争もあった歴史の中で、校地の拡張や校舎の建設等の結果、現在に至っています。その間、切られてもおかしくない状況の中、残されたことに人々の思いを感じます。その思いと行動が、ここに学ぶ子ども達に励みや誇りをもたしらしてくれています。当然、全国からも沢山の人々に訪ねていただいています。



おります。地元では、平成19年に小学校の創立130周年記念事業の一環として、この桜を後生に伝えるために「真鍋の桜保存会」を復活させました。また、4月の第一日曜日（開花状況で変わる）頃、PTAのOBや地域の各団体が中心となり、ライトアップを含む「桜を楽しむ集い」を15年前から行い、好評を得ています。

花の下で、昔遊びを興ずる子ども。紙芝居に大きな拍手を送る大人。桜茶を片手に手作りの桜餅を堪能する人々。和太鼓の荘厳さ。ピアノ演奏の清らかさ。等々と、桜を求めて、この地に集う人々の眼差しは、みんな清々しく、周りにいる人たちをも幸せにしてくれる光があります。

これからも、郷土の自慢の桜として、そして、多くの人々に感動と潤いを与える桜として「真鍋の桜」を後生に伝えていきたいと思っています。その為に、この地に住む人々が先達の思いを伝承し、英知に寄せ合い、より一層力を合わせていかなければならないと考えています。

association profile

団体名 土浦市ネットワーク等連絡協議会

設立年 平成19年

会長名 服部 定夫

会員数 13名

主な活動

- ・毎月定例会(第二木曜日)
- ・市内の川の汚染度検査
- ・泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルに参加
- ・ネットワーク行事等の参加



もりもりクラブ

市民のこころのふるさとを目指して



ふるさと自慢の内容

古河市ネットワーク等連絡協議会では、日本初のを自慢します。なお、執筆は、そのひとつを活動の中心にしている「もりもりクラブ」に協力していただきました。

古河市には、日本初のが二つあります。（他にもあるかもしれませんが）

一つは、篆刻美術館です。日本初ではなく、日本でただ一つの美術館です。建物は大正9年に建てられた三階建の石蔵で国の登録有形文化財に指定されています。昔の雰囲気を残した建物に、古河出身の故生井子華氏の業績を偲び、作品や資料が収められてい



篆刻美術館

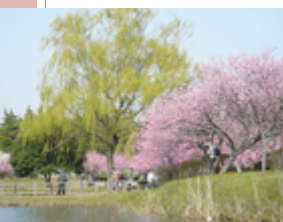
ます。

篆刻で身近なものといえば、書・絵画の落款でしょうか。古河の中学生は、卒業時に自分の落款を製作し、篆刻という文化を継承しています。

二つ目は、古河総合公園です。

こは、日本初、国連のユネスコから「文化景観の保護と管理に関するメリナ・メルクーリ国際賞」を受賞しているのです。

この公園は、古代の人々が住んでいた湿地と台地にあります。近年、公園の近くから大規模な鑑が見つかりました。古河公方が館を構えたという地でもあり、御所沼という地名が残っています。江戸時代には土井利勝の発案で生まれた桃園所縁の地でもあります。



春の古河総合公園



夏の古河総合公園

豊かな歴史に彩られ、先人がさまざまに使い込んで出来上がったふるさとを大切に思っているといわれたい公園です。

この公園を設計した景観デザイナーである中村良夫氏は、「豊かな自然に歴史が内在し、市民が使い込んで創られる現代の入会地としての公園」という考えをあちこちに表現し、建築士である内藤廣氏・妹島和代氏に依頼した現代的な建物とも調和を図っています。

春、桃まつりで有名ですが、雑木林の芽吹きがきれいです。夏、緑の中、大賀はす（古代はす）が咲き誇り、秋は平地林の紅葉は趣があります。冬は、関東平野を囲む山々を望み、寒風の中凄まじい枯野も必見です。

association profile

団体名	古河市ネットワーク等連絡協議会
設立年	平成19年
会長名	加藤 常吉
会員数	97名

もりもりクラブのプロフィール

設立年	平成19年
会長名	川田 いつ子
会員数	14名

主な活動
公方様の森と公園の南エリアを活動場所とし、その野草の維持・管理を公園と協同で行っています。
また、植物観察・野鳥観察・歴史など公園に関する講習会を開いて学習を進めています。

メッセージ

ここを訪れた人は、懐かしい風景ですねとおっしゃいます。それは、昔なじみの野草や虫たちもここを住処にしているからかもしれません。中には、稀少種もそんな身近な野草や虫たちもこの公園の景観の一つなのです。

多くの人のそれぞれに、自分のお気に入りの場所が見つかる公園です。ぜひ、ゆったりした時間を過ごしてください。

石岡のおすすめスポット



常陸風土記の丘と竜神の森

約11万4千平方メートルの敷地を有する「常陸風土記の丘」は、平成2年に開園以来20年の時を経て、東筑波の裾野で、緑豊かで落ちつきのある施設として、多



くの観光客や市民に親しまれています。

施設は、縄文時代の遺物を多く出土した、宮平遺跡の跡に造られ、古代から江戸時代の家屋を復元した体験エリアと鹿の子遺跡を復元した鹿の子史跡公園のある有料ゾーンと、それらの施設を取り巻くように作られた水際公園があります。

金山池を中心に遊歩道が作られ、春には満開の桜並木のトンネルを抜け、初夏には池の周囲に咲くゆりの花や池の中のピンクに咲く古代大賀ハス、秋には風に揺れるコスモスを見ながら奥にすすむと、そこにはキャンプ場を併設した竜神の森があります。

森の中に点在するいくつかの池や森の中を巡る遊歩道が整備されていて、一年中、季節を感じながらのウォーキングや森林浴を楽しむ。

しめる、市民の憩いの場ともなっていて、ご家族で楽しめるおすすめのスポットです。

龍神山

石岡駅の西方約5キロメートル、常陸風土記の丘に隣接する標高176.9メートルの低い山ですが、筑波山に連なる山々の東及び南側は、急斜面をなし、各所に粘板岩から成り立つ巨岩が露出しています。

山頂付近には展望台が設けられていて、ここから眼下に常陸風土記の丘の全景が眺められます。

展望台までは、いくつかの登山ルートが整備されており、近年は山歩きのパフォーマンスもあり、ここを本格的な登山の前のトレーニングの場として利用する人も多く見られます。

いろいろなルートを組み合わせ、登ったり下ったりをくり返すと結構きつくて、低い山と侮れません。

健康で長生きをめざす人には、健康増進におすすめのスポットです。

association profile

団体名 ネットワーカー石岡

設立年 平成14年

会長名 武井 純子

会員数 13名

主な活動 市内留学生との交流会 等



歴史と伝統のまち結城



伝統工芸「結城紬」

結城市は、茨城県の最西北端に位置し、東は鬼怒川を挟んで筑西市、西は栃木県に接する人口約5万2千人のまちです。

結城市を含む鬼怒川沿いの地域は古くから養蚕及び織物業が盛んであり、特に鎌倉時代に結城家初代朝光がこの地を治めて以降、結城紬の産地として全国的にその名を知られるようになりました。また市街地には

歴史的建造物の見世蔵や町家が数多く存在し、昔ながらの情緒あふれる城下町特有的の景観を残しています。

そんな結城で代表的なものといえやはり前述の「結城紬」です。平成22年11月16日に結城紬がユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録されま



した。

結城を中心として古代より育まれ、先人達から織り継がれてきた結城紬の伝統文化や技術のすばらしさ、さらには他の地方や国々では見られない独自性・特色などが世界に認められました。

結城紬の制作には多くの人手と時間、労力が必要とされます。手作業による20以上の工程を経てはじめて一つの織物が完成します。

その工程のうち、真綿から糸を引き出す「糸つむぎ」・図案を基に墨をつけた部分を綿糸で一つ一つ縛る「餅くくり」・地機という、原始的な織機で織りあげる「地機織り」の三つの工程が、重要文化財の指定要件とされています。



結城紬は、袖を通すごとに味わいが深まり、親から子へ、そして子から孫へ、「親子三代」に渡り継ぐことのできる結城市が世界に誇る伝統文化です。

メッセージ

結城市ネットワーク等連絡協議会は、大好きいばらき県民運動の趣旨を踏まえ、推進員とのネットワークを図り、やさしさとふれあいの地域づくりを目指しています。

主な活動として、市内各地で開催されるイベント・お祭りに積極的に参加し、大好きいばらき県民運動の普及活動を行っています。

また「きれいな街づくり」として鬼怒川・小貝川流域ネットワーク主催の鬼怒川河川敷のクリーン作戦への参加や、市街地のごみ拾いを実施しています。

この地に住み、今後も地域の人々と共に生活する私たちだから出来ることがあるはずです。

これからもコミュニケーションを図りながら、無理をせず活動を継続していければと思います。

association profile

団体名 結城市ネットワーク等連絡協議会

設立年 平成14年

会長名 柴 照男

会員数 24名

主な活動 市内で開催する祭り・イベントに参加し、県民運動をPRしています。





龍ヶ崎市 ネットワークドラゴンズ

”福祉のまちづくり”を

龍ヶ崎市街地の中で

社会福祉協議会中央支所・交流サロンりゅう・

福祉の店りゅうがオープン



平成23年8月1日、龍ヶ崎市の中心市街地（関東鉄道バス「竜ヶ崎二高入口」バス停前）に「福祉のまちづくり」を目的とし、龍ヶ崎市社会福祉協議会の支所、市民交流の場、障がい者の皆さんが働く場の三つの機能を持ち、地域住民の皆さまにご利用いただける施設がオープンしました。



龍ヶ崎市社会福祉協議会の「中央支所」は、地域や日常生活に関する様々な相談やボランティア活動をはじめ、地域活動の積極的な支援なども行い、地域に暮らす住民の皆さんにとって、お役に立てる場所になるものと期待されています。

「交流サロンりゅう」は、小さなお子さんや高齢者まで、どなたでも自由にご利用いただける場となっています。例えば、折り紙や絵画などといった趣味を生かした活動や、住民の居場所や交流の場としての活用、あるいは子ども会や住民自治組織（区や自治会、町内会など）の会議などにも幅広く利用できます。将来的には、高齢者と子どもといった世代を越えた交流なども活発に行なわれるような場所になりたいと社会福祉協議会では考えているとのこと。

「福祉の店りゅう」は、障がいの

ある人たちが将来の自立に向けての夢や希望が育まれるよう、既に市内に設置されている「福祉の店ひまわり」と「福祉の店たつこの」に次ぐ3号店として売店を設置しています。取り扱う商品としては、龍ヶ崎ブランドの各種野菜やお米、パンや切花などの多数の商品を販売しています。

なお、営業日は日曜・祝日を除く、月曜日から土曜日までとなっています。

皆さん、足を運んでみてはいかがでしょうか。

メッセージ

団体としての活動は思うように進んでおりませんが、会員はそれぞれに多様な活動に参加しています。



association profile

団体名 ネットワークドラゴンズ

設立年 平成15年

会長名 —

会員数 24人

主な活動 まちづくり活動



花のまちのおいしいもの



私たちのふるさとには豊かな自然に囲まれ、農産物にも恵まれた環境にあります。その新鮮な農産物を加工して「地産地消」にこだわりの様々な加工食品をつくりだしているのが『下妻食と農を考える女性の会』の加工食品を製造・販売する組織「ウイマム」です。

会員は市内の農家を中心としたお母さんたちで結成され、ピアスパークしもつま内の農産物加工施設を拠点に活動されています。地元産農産物で加工した数々の食品



がある中でも下妻の名産である梨を加工した、梨ジャムやドレッシング、アイスは梨のさっぱりとした甘みが爽やかに香って、おすすめです!! お母さんたちの農産物に対する愛情と元気が詰まって作られた食品は食生活と健康づくりはもちろん、地域産業の活性化にも一役買うパワーを見せています。

その勢いは、東京北千住に6月にオープンした県内初のアンテナショップ「シモンちゃんの家」にもウイマムで作られた食品が数多く並んでいます。新鮮な地元農産物で作った食品は、地元北千住のお客さんにも好評のようです。

また私たちのまちには大きな花の名所が二箇所あります。一つ目は、小貝川に沿いに続く5万平方メートルのお花畑。春には5万本のポピーが咲き乱れ、秋にはコスモスが涼しげにゆれて、一面の花じゅうたんとなります。続いて小貝川を西に向かうと鬼怒川河川

敷に広がる「鬼怒フラワーライン」があります。1万5千平方メートルの花畑にはポピーが咲き誇り、秋にはさつまいもの種まき&いも掘り大会など年間を通して様々なイベントが開催され、採れた紫いもを使った「ポピー大福」は、ネットワーク活動推進大会の際に売切れにもなった人気商品です。そして、下妻には花畑だけではなく、希少な植物も自生しています。秋の七草の一つで、環境省のレッドデータブックでは準絶滅危種に指定されている「フジバカマ」です。

小貝川河川敷に自生しているフジバカマを高道祖小学校の生徒・保護者・地域が一体となって自然保護活動に取り組んでいます。フジバカマを守る看板を児童が作成・設置し、保護者や地域の方々とともに清掃、除草作業などの保全活動に励んでいます。

この自然豊かな下妻を私たちは守り、これからも美しい緑と美味しい農産物に囲まれた下妻を広くアピールしていきたいと思えます。

association profile

団体名 下妻市ネットワーク等連絡協議会

設立年 平成18年

会長名 軽部 守彦

会員数 59名

主な活動

- ・毎月定例会
- ・ポケットパークの清掃、除草
- ・イベント等への協力



アイディアを叶える仲間



常総市ってどんなまち？

本市は茨城県の南西部、都心から55キロメートル圏内に位置しており、東はつくば市・つくばみらい市、西は坂東市、南は守谷市、北は八千代町・下妻市にそれぞれ接しています。

南北は約20キロメートル、東西は約10キロメートルの広がりを持ち、面積は123.52平方キロメートルです。人口は約6万5千人で、そのうち約4700人は外国人であり、その比率は7.2%と茨城県で第一位となっています。

また、本市のほぼ中央には一級河川の鬼怒川が流れており、東部の低地部は広大な水田地帯となっており、西部は丘陵地帯となっており、集落や畑地、平地林が広がっていますが、住宅団地や工業団地、ゴルフ場なども造成され、近郊整備地帯として都市機能の強化も図られています。道路体系は、本市を南北に国道

294号、東西に国道354号が整備されています。また、周辺市町村と連絡する主要地方道や一般県道があります。さらに、本市のほぼ中央部には首都圏中央連絡自動車道が計画され、広域道路網の整備が進んでいます。鉄道については、南北に関東鉄道常総線が走り、取手方面と下妻・筑西方面を結び、守谷においてつくばエクスプレスと接続し、東京都市などへの所要時間の短縮により通勤圏の拡大が進んでいます。

アイディアは無限に アクションは仲間と

ネットワーカー常総市では、会員相互の交流から生まれる自由なアイディアを基に事業を展開しています。昨年度から実施している『うた声列車』。「美しい田園風景を見て欲しい」「お座敷列車を利用しては」「列車を利用す

るならカラオケもしたい」。こうして、今年は1000人を超える規模で実施しました。

また、「自分の手芸品を披露したい」「農作物も同じように並べたい」「移動も陳列も簡単な軽トラを利用しては」。そんなオモイをカタチにしたのが『軽トラック市』。

アイディアを無限に出し、みんなが賛同した内容について、会員の持つ幅広いネットワークを活かしながら、アクションを起こすことで常総市を盛り上げています。



association profile

団体名 ネットワーカー常総市

設立年 平成21年

会長名 染谷 みどり

会員数 36名

主な活動 うた声列車・軽トラック市

その他 合言葉は「わくわく常総」
みんな笑顔で楽しんでいます。

「赤レンガと銀杏まつり」と

「愛子おばあちゃんのひょうたんランプ」



ふるさと自慢の内容

常陸太田市の中央部に位置する河内地区は、里川が形成した谷沿いに南北に走る棚倉街道の宿場町として栄えました。また、市制施行以前の旧河内村時代には村役場が設置され行政の中心地でもありました。そのような歴史的な背景を持つ河内地区において、「河内の文化遺産を守る会」が発足したきっかけは「旧町屋変電所」の存在です。

現在西河内下町に遺されているレンガ造りの旧町屋変電所は、明治42年に日立鉱山によって建設された町屋発電所の変電施設とし



て建てられました。

県内では水戸、笠間、土浦に次いで旧太田町、河内村町屋に電灯が灯りました。当時、町屋の人々は電気見たけりや町屋へおいで」と誇りにしていました。

その後、町屋変電所は昭和31年に業務が廃止され公民館として地域の人々に長い間愛されてきましたが、平成4年に新しい公民館が完成し変電所の建物は解体されることとなりました。

レンガ造りの貴重な建物を壊すのに忍びないと地域の有志が立ち上がり、熱意を持って保存活動を行った結果、保存されることになりました。

平成16年からは、「赤レンガと銀杏まつり」を開催し幻想的な



イベントとして市内外から大勢の人々が訪れ、親しまれています。まつりでは、高齢者が作った行灯に地元の小中学生がイラストを描き、ろうそくを灯したイルミネーションをしたり、地域の人々の絵画や書などの作品展示、ジャズを中心としたコンサートなどを行っています。

また、その展示のひとつに地元のおばあちゃんが作るひょうたんの工芸品があります。

根本愛子さんによる手作りのひょうたんの工芸品は、きれいな模様と色とりどりの細工がちりばめられとても幻想的な雰囲気を感じ出し、まつりをより一層盛り上げています。

11月には「赤レンガと銀杏まつり」が開催されます。この幻想的な雰囲気を味わいに皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

association profile

団体名 大好きおおたネットワーク

設立年 平成19年

会長名 中村 二三子

会員数 33名

主な活動

市内環境美化活動の実施、交通安全運動への参加、地球温暖化防止運動への参加、県・市主催等による事業への参加、他ネットワークとの交流(小美玉ネットと交流(平成22.12.17))



ロケの街 高萩を目指して



高萩市には、自然豊かな海岸や山間部を有するため、テレビや映画等の映像素材となる撮影候補地が多く存在し、また日本有数の規模を誇る廃工場などもあり、時代劇から現代劇まであらゆるジャンルの撮影支援を行ってきました。

このような地域資源を活用して、「高萩市」の知名度の向上、地域活性化、新たな観光資源の発掘等を目指して、エキストラやボランティアスタッフなどを個人で協力してきましたが、平成22年4月にボランティア団体「た

かはぎフィルムサポーター」を設立し、更なる撮影誘致を行っています。団体の活動ですが、撮影の誘致については、市役所のフィルムコミッション推進室で行い、映像制作会社等からの要請によりボランティアスタッフ、エキストラ募集などを行っています。

フィルムコミッションにおける市民ボランティア団体は数多くありますが、多くはエキストラとしての参加程度が多く、臨時のスタッフとして制作現場まで参加している市民ボランティア団体は少数です。

しかしながら、メンバーの多くは家庭の主婦なので、今までに制作現場へ関わった経験のあるメンバーは数少なく何事も試行錯誤の連続でした。前述のとおり、映像制作会社の要請は多岐にわたり、撮影現場の環境美化（現場の清掃活動）、エキストラの撮影現場での取りま



とめや募集、映像制作部の助手、スタッフ等の食事の世話まであります。

このような要請に対し、失敗を重ねながらも少しずつではありますが、現場の経験を重ね、映像制作会社のニーズに応えられるような体制作りに努めていきました。

その結果、平成22年度においては高萩市で撮影支援を行った46作品中10作品程度の支援要請を受け、市フィルムコミッションと連携して撮影支援を行うまでとなりました。

今後の活動内容については、市フィルムコミッションとの連携

も軌道に乗り始めており、当初数名で活動を開始した団体も、会員数の増加とともに、よりきめ細かい支援活動を行える体制も整いつつあります。現在は長期的な撮影支援についても対応できるようになってきましたので、「ロケの街 高萩」を目指し積極的な撮影支援活動を行っていきたいと考えています。



association profile

団体名 高萩市ネットワークカー

会員数 24名

主な活動 大好き いばらき 県民会議への活動協力 等

たかはぎフィルムサポーターのプロフィール

設立年 平成22年

会長名 高萩 ひろみ

会員数 17名

主な活動 テレビ、映画等の撮影支援

文化と自然、今昔



五浦・六角堂

(国登録有形文化財)

天心が思案にふけたところと言われ、緑の松林を背後に前は五つの浦がひらけ太平洋の白波が裂け散る・雄大な姿六角堂は東日本大震災の大津波で流出・台座を残して海に消えました。

天心が想い大観が画いた日本美術院発祥の地に六角堂を再建すべく作業を始めることとなり今年度内を目標に復元されます。



東日本大震災

二ツ島(磯原海水浴場)

岡倉天心・横山大観とくれば野口雨情の生まれ故郷・磯原・・・

松は繁りて

波静か

童子泳ぐ二

ツ島・こども

又巨大地震に

より丸々坊主

の岩山となつてしましました。

雨情の心象風景でもある磯原海岸「通りやんせ」の像のある二ツ島・

ここからの眺めが素晴らしく澄んだマリンスターの海岸線・二ツ島海水浴場・・・

今年は原発事故・放射性汚水の流出による被害のため海水浴場としての開設は中止となりました。

一日も早い原発事故の収束と豊かな自然をとり戻したいものです。

これこれ草木よ起きなさい

お陽さまにここにこ声かけた!!

五浦六角堂・二ツ島海岸の他にも「北茨城のふるさと自慢」あるあるま

だある。ヒーローミー

ふなつて自慢

明日を信じて

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

元気!北茨城

ヨ・・・阿武隈の山なみ白雲なびく高帽山・富士山望む栄蔵室(881.6メートル 筑波より高い県内)

・石楠花薫る花園神社・清い

流れの十石堀・陸前浜街道は神岡

宿・風待ちみなと平潟港・常陸大

津の御船祭り・サケ、アユのぼる

大地川また黒根川・紅葉狩り七ッ

滝から奥の院・風船爆弾放流の地、

長浜(呪いと殺意の武器はいらない。

青い気球よあれば幻・わずれ

じ平和の碑・音なつかし常磐炭鉱、

黒ダイヤ・黒船寄港は天津の岬(ペ

リー浦賀来航の30年前 1824

年、常陸なる大津の浜にイギリス

の船をつなぐと君はきかずや)

山あり川あり海の幸、なにより

も人情豊かな北茨城。是非一度お

いで下さい。

メッセージ

東日本大震災による平潟港、大

津港そして磯原地区の復興に私達

大好き北茨城ネットワーク協議

会もいくらかでも地域に貢献出来

ればとボランティア活動を展開中

です。

北茨城の文化と自然を大切に。

広い心と懐の深さ度量の大きさに

association profile

団体名 大好き北茨城ネットワーク・カー協議会

設立年 平成14年

会長名 金田 広由

会員数 33名

主な活動 環境美化・青少年育成

その他 他団体との交流・協力

でも大丈
夫北茨城は
負けません
元気で。

雨二毛負けス
風二毛負けス
暑サ寒サニヤ負けナイガ
地震・津波ハチヨット怖イ
見エナイ敵(原発放射能)

二八弱インダ



古今悠々かさま

親鸞聖人と稲田草庵

今年は親鸞聖人の750回忌に当たります。

浄土真宗の開祖親鸞は、1173(承安3)年に京都の貴族の家に生まれました。9歳で比叡山に登り20年間も修行し、比叡山をおりて法然の弟子となりました。

1207(承元元)年に念仏停止がでて、越後に流罪となりました。のちに流罪がゆるされたと、妻の恵信尼らを伴って関東へ旅立ち常陸国に移住しました。関東在住約20年の大半を稲田草庵(西念寺)を本拠として布教に努めたのです。



西念寺(笠間市稲田)



稲田の草庵は、黒木の草庵とか御坊あるいは禅坊と呼ばれていました。西念寺と呼ぶようになったのは鎌倉時代の末頃であると言う。寺号の由来は恵信僧都の詠んだ夏衣ひとえに西を念ふかなうらなく弥陀をたのむ身なれば」の歌からと伝えられています。

親鸞は鎌倉時代の念仏僧です。親鸞の思想の根本は、『阿弥陀仏の救いの力を信じて念仏を称えればすべての人々は救われる』とするものです。真宗立教の根本である『教行信証』を52歳の時に書きあげました。

親鸞は、60歳の頃家族を残して関東を去り京都に帰りました。そして、90歳という長寿をまっとうしました。

笠間茨城県でもっとも親鸞のかかわりが強かった地域です。親鸞が帰京する時に、見送る家族を振り返ったとされる「見返り橋」が、西念寺前の水田の中にあります。傍らに建つ石碑には親鸞が詠んだ

とも言われる和歌が記されています。また、親鸞の妻玉日姫(恵信尼)の墓所とされる「玉日御廟」が稲田の大山木崎台にあります。

国道50号沿いの北側にある、浄土真宗別格本山稲田禅坊西念寺は、老杉とけやきの大樹に囲まれた、長い参道の正面に、室町時代に建立されたと伝えられる山門があり、広い境内に入ると親鸞のお手植えとされる「お葉つき銀杏」の樹齢数百年も経つ大樹が見られます。また、弁円回心の桜・聖人御杖杉などの遺跡があります。

西念寺は、今なお時空を超えて多くの人々の信仰の拠り所となっています。

ようこそ、住みよいまちを訪れてよいまち 笠間へ

現在の笠間市は、平成18年3月、笠間市・友部町・岩間町の1市2町が合併し、新たな笠間市が生まれました。

それにより、笠間稲荷神社をはじめ、笠間日動美術館や茨城県陶芸美術館、笠間焼、稲田みかげ石などの歴史・芸術・伝統文化に加え、愛宕山や北山公園など自然が加わり、豊かな自然と文化芸術が息づ

く大変美しいまちです。

体験できる観光も多く、ロクロや手ひねりなどの焼物体験や関東で初の本格的な滞在型市民農園の「笠間クラインガルテン」では、そば打ち体験や炭焼き体験も出来ます。

また、年間を通じて祭事が多く、春は、北山公園・愛宕山での「桜まつり」、ゴールデンウィークには県下最大のイベント「陶炎祭」、夏は「笠間のまつり」、秋は、百年の歴史をもつ「菊まつり」、冬は、奇祭として知られる「悪態まつり」などがあります。

ぜひ笠間にお越しください。

association profile

団体名	大好きかさまネットワークカー連絡協議会
設立年	平成18年
会長名	大嶋 貞二
会員数	91名
主な活動	・市内ウォッチング ・あいさつ運動 ・ワークショップ





取手市

取手市ネットワーク等連絡協議会

街全体が美術館!?

アートタウン取手



街の見どころ

取手市では、街のいたるところで芸術に触れられ、芸術がより身近に感じられるような特色あるまちづくりをおこなっており、市内各地に多数のアートスポットが点在します。

取手駅周辺の歩道には芸術家や



ストリートアートステージ(東口駅前)

東京芸術大学の学生が製作したユニークな彫刻や工芸作品があり、街並みを歩きながらアートが楽しめる場所となっています。取手駅西口のとりでアートギャラリー「きらり」では多彩な企画展が開催されており、取手駅東西口連絡地下道の市民ギャラリーとともに芸術作品の発表・鑑賞の場として多くの市民に親しまれています。

また、常磐線の高架橋下や常総線ゆめみ野駅などの壁面には、落書きや張り紙の防止を兼ねて取手市の自然や市民が望む明るく住みやすい街などをモチーフとした壁画が描かれています。これは、小中学生や市民、東京芸術大学の学生、アートプロジェクトメンバーなどが中心となって市内に10か所作成されました。

他にも、取手駅の近場には取手宿本陣、長禅寺、八坂神社などの歴史的な文化財もありますので、取手市にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

【主なアートスポット】
TAP オフィス(取手駅西口)、とりでアートギャラリー「きらり」(取手駅西口)、井野アーテイストヴィレッジ(井野団地)、壁画(ゆめみ野駅など市内10か所)

メッセージ

取手市は、昭和40年代頃から都心に通勤する「茨城都民」と呼ばれる住民が多くなったこともあり、残念ながら地元への愛着心に乏しいといわれています。そこで私たちネットワークカーは、毎年環境保全や防災対策などの重点テーマを設定し、研修会や定例会などで会員のスキルアップを図りながら、市民に「茨城大好き」と思っていただけのように地道に活動を続けています。

ネットワークフェア(祭典)では、来場者の皆さんに「ゴミの分別体験をしていただいたり、一緒にアクリルたわしをつくるなどして、地域の皆さんと交流を図りながらネットワークカーへの理解と活動の普及・啓発に努めています。

association profile

団体名 取手市ネットワーク等連絡協議会

設立年 平成17年

会長名 彦坂 三矢子

会員数 46名

主な活動

- ・定例会
- ・研修会
- ・ネットワークフェアへの参加



霞ヶ浦環境科学センターでの研修会

素敵な出会い！

「ふれあいパーティー」について



出合いの場を提供します！

牛久市ネットワーク連絡協議会では、年間事業の一つとして、いばらき出合いサポーターセンターの後援により、『ふれあいパーティー』を実施しています。実施回数もすでに4回を数え、トータルで40組のカップルが誕生しています。毎回多くの応募があり、お断りしなければならぬ方が多いのが現状です。理由の一つとして、会費や成功報酬などを取られる民間の団体よりも、公的団体の主催・後援であることが大きな信用になっているようです。



パーティーの受付とスタッフ

そんな中、今年1月、事務局に1通の年賀状が届きました。それは2回目のパーティーでカップルになった二人がめでたく結婚をしたという写真入の年賀状でした。パーティーの時に「結婚が決まったら事務局まで連絡に報告をいただけるとありがたいです」というカードを入れていたため、報告してくれたようです。私たちが主催した「ふれあいパーティー」の一番目の成婚者ということで、牛久市長と協議会長から記念品を贈呈することになり、3月に実施する予定でしたが、東日本大震災で延期となり、5月に実現しました。

私たちはこれからも「出合いの場」を作って、一組でも二組でも結婚が決まるよう、頑張っても取り組んでいきたいと思っています。

第6回のパーティーは、平成24年3月10日(土)に、シャトーカミヤ内の「ラ・テラス・ドウ・オエノン」にて実施します。

★対象者

男性・女性とも年齢フリー
(独身者)

★募集人数

男女 各35名
(予定数を超えた場合は抽選)

★会費

男性 5千円
女性 3千円

★お問い合わせは

牛久市市民活動課
873-2111
内線1631まで

×メッセージ

牛久市には、河童の伝説が残る牛久沼や日本一背が高い牛久大仏、ワインで有名なシャトーカミヤなど、たくさんのお名所があります。ぜひ牛久市へ遊びに来てください！

association profile

団体名 牛久市ネットワーク連絡協議会

設立年 平成10年

会長名 村武 修司

会員数 25名

- 主な活動
- ・ふれあいパーティーの開催
 - ・視察研修会
 - ・市内探索会
 - ・市長とのふれあい交歓会
 - ・クリーン作戦 等

その他 いいアイディアは何でもよろう!がモットーです。



記念品贈呈式にて



つくば市

茅崎ネットワーカーの会

ネットワーカー活動の紹介



わが故郷を美しく

茅崎ネットワーカーの会では「わが故郷を美しく」をモットーに違反広告物の撤去作業と公共施設への花植え作業を実施しております。

▽電柱などに張られた違反広告の張り紙や立て看板の撤去作業を5年前から続けております。

特殊な糊で張られた張り紙は剥がすのになかなか骨が折れますが鉄製のヘラで根気よく剥がします。高所にある張り紙も梯子を使い慎重に剥がします。

最初は「サツ金」や「出会い系」などの張り紙が多数見受けられましたが最近是我々ネットワーカーの活動の成果が表れほとんどなくなりました。

今では地区内を車で走っていても違反の張り紙があると気になり、ネットワーカー同志が連絡を取り合い撤去しています。町の景観を守るため今後も続けていきたいと思います。



▽花植え作業は、つくば市の「花いっぱい運動」に参加協力することにより春と秋の2回実施しております。

一昨年末では旧茅崎庁舎前に、昨年は茅崎児童館前に、今年は児童養護施設「つくば香風寮」に花植えを続けてきました。

春は「サルビア」「マリーゴールド」「ペコニア」などの苗をプランター15〜20個に植え込みます。



夏はネットワーカーが交代で水やりや草取りを実施します。冬は「ハンジ」や「ヒオラ」などの寒さに強い花を植えることにより、一年中花を絶やさず、皆様に喜ばれております。

ネットワーカーの方々は、勤めている方、他のボランティアと兼務している方等、日頃忙しい人達ばかりですが「少しでも我が故郷が美しくなれば」の思いで違反広告物の撤去や花植え作業を続けております。

読者の方に一言

つくば市茅崎地区は牛久市に接しており、近くに牛久沼が、遠くに筑波山が望まれる風光明媚なところですよ。

茅崎地区に一度お立ち寄りください。

電柱には張り紙はほとんどありません。我々ネットワーカーの活動の成果です。

association profile

団体名 茅崎ネットワーカーの会

設立年 平成14年

会長名 寺島 貞光

会員数 21名

- 主な活動
- ・違反広告物撤去
 - ・花植え作業
 - ・ひまわり祭りへ出店
 - ・行政及び各団体の催し物へ参加協力
 - ・交通安全しお

その他 現在、市全域に渡る協議会の立ち上げに向けて、行政及び他地区のネットワーカーと調整中。

ひたちなか海浜鉄道で行く 歴史スポット那珂湊



ふるさと自慢の内容

ひたちなか市は、水戸藩に由来する史跡や舟運で栄えた江戸時代の風情が数多く残る町です。

この歴史豊かな町を多くの方々を知っていただきたいという思いと、東日本大震災の甚大な被害から運転再開を果たした「ひたちなか海浜鉄道」へのエールを込め、湊線を利用した歴史スポット散策コースをご紹介します。

◆那珂湊駅

勝田駅から四つ目の駅で下車。那珂湊駅は、映画『フラガール』のロケにも使用されたほか、駅舎に住み着いた駅猫「おさむ」がいることでも有名です。



ひたちなか海浜鉄道の
吉田社長と佐藤応援団長

←(約400メートル)

◆山上門(さんじょうもん)

水戸藩江戸小石川邸に設けられた勅使奉迎用の門。

幕末には、佐久間象山、西郷隆盛などの名だたる人々が、この門を出入りしたといわれています。

後に小石川邸の山上に移されたことから山上門といわれるようになりました。

←(約100メートル)

◆反射炉跡

安政4年、水戸藩九代藩主徳川斉昭により築造された大型金属溶解炉。

ここで造られた大砲は、幕府(お台場)にも献上されました。

←(約700メートル)

◆華蔵院(けぞういん)

県指定文化財の梵鐘と庭園「龍華園」が見どころ。

梵鐘は、暦応2年に源義長が圓阿に製作させたもので、もとは松沢村(現・常陸大宮市)の淨因禪寺にありましたが、幕末に大砲製造

のため那珂湊に運ばれました。

←(約200メートル)

◆湊公園

水戸藩第二代藩主徳川光圀の命により元禄11年に建てられた水戸藩別邸「賓閣」が、元治元年の騒乱で消失した跡地。

園内にある「湊御殿の松」は、徳川光圀が須磨明石から取り寄せた黒松の名木。

←(約400メートル)

◆天満宮

鎌倉時代、海上に種々の瑞兆が現れたことから、菅原道真の神霊がこの地に降ったとされ、学問の神様である道真公が祀られました。

「天満宮御祭礼(通称・八朔祭り)」は、その伝説に基づく浜降祭りで、徳川光圀が東照宮に倣って祭礼の形式を定めてから400年続く、格式の高い港町らしい夏祭りです。



山上門

湊公園

メッセージ

ひたちなか市民がこぞつて応援している「ひたちなか海浜鉄道湊線」は、東日本大震災の影響で運休してしまいましたが、去る7月30日、湊線全線復旧しました。

始発駅勝田を過ぎてもまもなく中根駅近くになると田が広がり、実りの秋は、黄金波の風を送り、それを受けて走る列車は、15分程で那珂湊駅に到着します。

東に洋々たる太平洋、那珂川もこの太平洋に注ぎます。

当地は江戸時代、舟運で大いに賑わいました。

当時の町に残る史跡や風情をぜひご覧ください。

association profile

団体名	ひたちなか市ネットワークカー連絡協議会
設立年	平成23年
会長名	桐原 悦子
会員数	36名
主な活動	・地域活動について会員相互の情報交換 ・大好き いばらき 県民運動への参加
その他	県内ネットワーク協議会の皆様とも連携を図りながら、ひたちなか市の魅力を発信していきたいです。

※平成23年度大好きいばらきふさと自慢大会出場
詳しくは45ページ参照

かしま青少年少女合唱団「虹Kids」 心をつなぐ歌声響かせて



心をつなぐ歌声響かせて

2002年日韓共催ワールドカップ鹿嶋開催での世界共通語の音楽によるボランティア活動を母体とし、W杯終了後の7月、新たに かしま青少年少女合唱団「虹Kids」を設立し、今年9周年を迎えました。創立時の団員は100名でしたが、現在は歌の大好きな団員75名(四歳〜高三)が熱意ある諸先生のご指導の下、地域や国、学校の枠を超え、異学年交流をしなから、仲間作りと音楽の資質の向上を目指した練習を重ねつつ、合唱を通じて豊かな心を育みながら鹿嶋市を中心とした演奏活動や施設、病院等でボランティア活動を行っています。

2010年には創立時からのものであった東京ディズニーリゾートミュージックフェスティバルプロダクションの厳しいオーディションに合格し、5月5日に東京ディズニーランドの舞台上で歌を披露することが出来ました。また2011こどもコーラス・フェスティバル in 東京全国大会では、昨年の広島に続き今年も昭和女子大人見記念講堂で8月6日・7日に開催された大会に2年連続出場を果たすことができました。



2011こどもコーラス・フェスティバル

元気な歌声を会場の皆様にお届けすると共に、最後に全員でドラカムの「LOVE・LOVE・LOVE」を心熱く大合唱しました。世田谷区の皆様の温かいお

3・11東日本大震災発生後2ヶ月間練習できませんでした。が、大会では震災復興と平和への祈りを込めて歌声を響かせてきました。6日の夜には、第34回世田谷ふるさと区民まつり震災復興支援イベント「心ひとつにして」のステージに被災地茨城県鹿嶋市からの合唱団として迎え入れて下さいました。

心につれ、感動と感謝一杯の忘れられない思い出になりました。これから笑顔で歌う楽しさ、表現する喜びを感じながら、美しいハーモニーを響かせ、心と心をつなぐ活動を続けていきたいと思ひます。



世田谷ふるさと区民まつり

メッセージ

「虹Kids」のモットーは笑顔で、明るく、元気にです。ご支援頂いている鹿嶋勤労文化会館リハール室で月三回(土)楽しく練習しています。いつでも体験できます。お気軽にいらして下さい。鹿嶋は歴史ある鹿嶋神宮(パワースポット)と剣聖「塚原ト伝」生誕の地です。10月2日からは、NHK BS時代劇でドラマ「塚原ト伝」(全7回)が放映されました。魅力ある鹿嶋に、ぜひいらして下さい。鹿島アントラーズのサッカー観戦や勤労文化会館でのコンサート、イベントもお勧めです。お待ちし

ております。

団長 春日 幸子



第3回定期演奏会
2010年3月
於 鹿嶋勤労文化会館ホール

association profile	
団体名	ネットワーカーかしま
設立年	平成12年
会長名	五十嵐 栄子
会員数	23名
主な活動	・神宮駅周辺環境美化活動 ・城山公園環境美化活動 ・視察研修旅行 ・料理教室

かしま青少年少女合唱団「虹Kids」について詳しくは
公式ブログ「虹Kidsひろば」を検索
ケータイはこちらから↓





稲荷山公園

潮来市 潮来市ネットワークーカード連絡協議会

潮来はあやめの花と嫁入り舟で賑わうことで、多くの皆さんに知られていると思いますが、その華やかさに比べて、「静」の素晴らしさを感じる事が出来る場所それが今回、私達が推薦いたします稲荷山公園です。



場所は潮来市の中心部に位置し、その高台に立つと潮来市街地と水郷が、そして利根川をはさんで千葉県香取市の田園風景が一望出来るロケーション



シヨンの公園です。園内にはかの有名な野口雨情の名作、船頭小唄の文字碑があり、公園内を散策すると遊具のない静かな空間とスギ・ヒバ・クマザサ・アザミ等、数多くの植物と可憐な野草の宝庫でもあり、ところどころに、木洩れ日がやさしく隠れた草花を照らし、ほっと心を和ませます。

散歩を続けると、紫陽花の小道があり、開花時期には、紫・白・青・ピンクの紫陽花が涼しげな色彩ハーモニーを醸し出します。小道を下って行くと、そこには、国・県・市指定の文化財を多く有する、源頼朝が武運長久を祈願し創建した、海運山長勝寺があります。手入れの行届いた寺庭は、春夏秋冬、訪れる人々の心を打ちます。再び紫陽花の小道を通り抜け、稲荷山の高台から見ると夕日は天下一品といっても過言ではありません。



寺があります。手入れの行届いた寺庭は、春夏秋冬、訪れる人々の心を打ちます。再び紫陽花の小道を通り抜け、稲荷山の高台から見る夕日は天下一品といっても過言ではありません。



association profile

団体名 潮来市ネットワークーカード連絡協議会

設立年 平成15年

会長名 河瀬 玲子

会員数 25名

主な活動 一番大きな事業は男性の地域活動参加（勤務以外）推進する目的で「男の料理教室」を年3回程度開催し大好評です。

その他 心がけている事 集まり活動することが楽しいと思える会づくり。



※平成23年度大好きいばらきふると自慢大会出場詳しくは45ページ参照

町内は皆一家

安全・安心なまちづくり・

終の棲家をめざして



守谷自慢の町内会！

守谷市には、154の町内会があります。そのうちの一つ、下ヶ戸町内会の活気あふれる活動の数々をご紹介します。

下ヶ戸は今から40年ほど前に守谷で最初に販売された団地だと聞きました。大手のデベロッパーが開発したものではありませんで、道路幅は4メートルと狭く、公園も自治会館もない町でした。町民の多くは、守谷以外から集まった世帯（171世帯）で構成されています。

8年前に総会で、複数年を担当する町内会長制度（選挙・推薦制）が認められ、新会長が選出され、以来、次々と新規事業が実施されることになりました。まず最初に、今年で5回目を迎えた夏のイベント「下ヶ戸ホタル祭」が挙げられます。



それは近隣の自然環境を守ろうというボランティア団体「大柏里山の会」との共催で始まりました。公園や広場を持たないこの町は、耕作放棄地の一角を地主から借り受け、田んぼの中で祭を開催しています。今では町民550人の約60%を集めるほどになりましたが、それはそれはつましい手作りの祭です。

秋には、防災訓練と芋煮会が行われます。このイベントでは例年120人以上が集まり、真剣な訓練と楽しい芋煮会を同時に行い、災害時の動きを繰り返し練習しています。今年の東日本大震災では、この訓練が生き、災害時情報収集と高齢者宅や幼児の居る家庭など全戸の見回りや極めてスピーディーに行われ、町内に安心感をもたらしたと聞きました。年間を通じて行われる活動は、月



二回の防犯パトロールです。毎回約20名の参加があり、子どもたちの参加も増えています。マイクと拍手木と「火の用心」の掛け声が町内に響くと、窓から子どもや母さん達が顔を出してねざらいの言葉を添えてくれます。一緒に参加してみて、これはとても素敵な情景です。

昨年の8月から、守谷市の地域コミュニケーションたまり場支援事業の助成を受け、約40坪の元事務所跡を借り、「下ヶ戸ふれあい館」として活用を始めました。この一年間の実績で延べ2100人の利用を記録しました。ここでは高齢者から子どもまで、幅広い年代の集まりが数多くあり、町内の憩いの場所となっています。

町内は一つの家族

下ヶ戸は人材が豊富です。といっても特別な人がいるわけではありません。どこにでもいるおじさん、おばさん。パパ、ママ、子どもたちです。違う点はただ一つ、知恵をしぼって皆さんが触れ合う機会や場所を積極的に作りだしてきたことです。そこで発信されるメッセージ「町内は一つの家

族」は、地域の絆づくりの原点だと感じました。ずっと住み続けたいと思える町、帰ってくる町にしたいと思える町、そして「楽しい」「楽しい」「楽しい」を続ける下ヶ戸町内会の皆さんの笑顔は茨城を代表するものです。



大好き下ヶ戸！大好き守谷！
…そして 大好きいばらき！！

association profile

団体名	守谷市ネットワークカー連絡協議会
設立年	平成15年
会長名	安藤 聖志
会員数	30名

主な活動

守谷市が推進する「協働のまちづくり」のパートナーとして市民活動団体の活動がより円滑に進むようネットワーク活動を実践。（市民提案事業発表会実行委員会、きらめき守谷夢彩都フェスタ、駅前広場イベント実行委員会（クリスマスファンタジー）への参加等）

※平成23年度「大好きいばらき」ふるさと自慢大会出場
詳しくは46ページ参照

常陸の国をまなぶ会

「収穫祭と楽舞」

ふるさと自慢の内容

10月の中旬、常陸大宮市の下檜沢地内にある鹿島神社において、地元農家で収穫された作物の直売をはじめ、来場者にはけんちん汁や、つきたてのお餅を振る舞いながら、自然界をテーマに、水神様、風神様、雷神様等の神々と、花や鳥の精霊や小動物に扮した踊り手達による「祈り」と「感謝」を表現した創作舞踊を披露するもので、日本の伝統芸能である「田楽舞」をベースにした舞です。「田楽舞」は主に田の神様に感謝を捧げる踊りですが、田の神様だけではなく、様々な神様や動植物と踊ってみたいという発想から生まれたものです。

音楽も舞踊も、最初は自然の中で行われていました。それは、太鼓や笛が空気を振動させ、その振動は遠くまで広がります。しかも、その振動に誘発されて老若男女の人間、動植物たち、生命のあるものの全てが何らかの表現をし



メッセージ

古事記の時代から常陸の国で伝承されている民俗舞踊を地域活性化のツールとして取り込み、講座や体験教室を開催し、交流を深め参加者の方々と「楽舞」を立ち上げ現在に至っております。



association profile

団体名 常陸大宮市ネットワークカー協議会

設立年 平成19年

会長名 木村 勉

会員数 39名

主な活動
・交通安全活動協力
・環境市民会議事業協力

常陸の国をまなぶ会のプロフィール

設立年 平成18年

会長名 豊島 美恵

会員数 23名

主な活動 ・丹下不動尊夏の祭礼



那珂市 ネットワーカー連絡協議会

NPO法人 夢AKARIと協議会との協働による

「静峰ふるさと公園」でのイベントと景観づくり



那珂市瓜連地区に、常陸二の宮の社格を有する「静神社」があります。神社から数十メートル先に「静峰ふるさと公園」があります。

丘陵地を利用した広さ12ヘクタールの公園で、園内に交流センターや、中央部に池や水の流れる趣を楽しみ、周囲の丘で梅、桜、つつじ、あじさい、夏にはむくけの花、秋の紅葉に、季節のうつりかわりを充分に味わうことが出来ます。



4月末から

5月中旬にかけて開催される八重桜まつりには、2千

本以上ある八重桜が咲きそろうい、園内は人であふれ

最近では他県からのバスツアーのお客様もあり、春と花を楽しむ天地となります。

八重桜まつりの折には、那珂市協議会会員も、NPO法人「夢AKARI」のイベントに全面的に協力しております。

園内には約3千個の灯籠が灯され、大きくにぎやかな夜景が演出されます。

平成22年度の「大好きいばらき週間」の折には、「夢AKARI」と協働で、芝桜の植栽を行いました。その折には幼稚園児、小中学生、一般の方も参加して、桜の木の下でにぎやかに有意義な時を過ごしました。



ごしました。

23年の春には芝桜もきれいに咲きそろうい、樹上の桜花と共に楽しむことが出来ました。

23年11月にも芝桜の植栽をし、桜の咲く面積をひろげようと計画しております。

那珂市協議会は、これからも「夢AKARI」の方々と協働で、他市町村の方にはもちろん、県外からのお客様を多く迎えらる茨城県観光の拠点となるように、計画的に活動をすすめていきたいと思います。



association profile

団体名 那珂市ネットワーカー連絡協議会
設立年 平成17年
会長名 白土 繁子
会員数 29名

主な活動
・河川の浄化
・水郡線駅舎・構内の清掃
・あいさつ声かけ運動
・交通安全の啓発

NPO法人 夢AKARIのプロフィール

設立年 平成22年
会長名 谷島 貞勇
会員数 10名

主な活動
まちづくり活動を実践し、より良い地域の姿を提案し実現することを目的としています。県植物園の「ナイトガーデン」の時も種々の灯籠を灯し、幻想的な夜を演出しました。

メッセージ

多くの人々の協働によるゆたかな町づくりをし、新しい茨城のイメージを内外に伝え、ひろめます。

※平成23年度「大好きいばらき」ふると自慢大会出場
詳しくは46ページ参照

地域をこえ

市民の心の絆が深まって



人の魅力が地域に元気を

筑西市の誕生に伴い、下館・関城・明野・協和の4市町の協議会が合併し、筑西市ネットワーク協議会として発足いたしました。

結成して間もなく県西地区の役員会が筑西市で行われ、「今年度の県南・県西活動推進大会は、筑西市でお願いします。」ということで、市も私たちも断りました。しかし、県の石橋さんの熱意に心を打たれ、受けることになりました。名前も顔も覚えないうえ、会議はどんどん進みました。「今日はこれも決めましょう」と無理のない指導でした。テーマを決める時も、会員一人一人が発言し、言葉をつなぎ「見直そう地域の良さを私たちの手で」と決定し、会場は拍手で盛り上がりました。帰路につくと外は夕闇に包まれていました。会議を重ねる度に意志の疎通を感じ、心の通う会になり、当日は素晴らしい大会が出来ました。そして、団結心が強まり大きな収

穫でした。

総会時に決めた、あいさつ運動、PR運動、地球温暖化防止運動等、学校前や街かでキャンペーンをしてきました。初めは挨拶を返してくれる人も少なく、効果がありませんでしたが、何度も行いうちに、たくさんの方が挨拶を返してくれるようになりました。今では中学生が大きな声で「こんにちわ」と、声を掛けてくれるようになり、またPR運動ではカメラを通して活動の様子を撮って、筑西市の各所でパネル展を行い、大勢の方に見て頂き、大好きいばらきへの理解を深めることが出来ました。地球温暖化防止(節電)では、皆が努力しております。

下館 祇園 祭り、関城 どうぞいべ



ア、明野ひまわりフェスティバル、協和小栗判官まつりでは、どの地域も協力して、楽しく交流ができました。

この6年間で培われた大切な心、優しさと思いやりの心で、地域に環境美化運動が芽生え、緑の多いきれいなまちづくりに取り組み、特に協和の杜の「あじさい」は合併を記念して植え、昨年から「筑西市として育てよう」と私達も剪定に協力し、改めてあじさいの美しさに魅せられました。いい日か、「大好きいばらき」になることを心待ちにしています。また、このような活動を協働課で認め、協働のまちづくりとして、筑西市ネットワーク協議会にティッシュペーパーを作って下さいました。これからも、社会のニーズに応え、努力して参る所存です。



メッセージ

我がふるさと筑西市は、東に筑波、西に日光を仰ぎ、自然に恵まれた所であり、美味しい果物(メロン・スイカ・梨・ブドウ等)の宝庫でもあります。

また文化の薫り高く、美術館には、陶芸家の板谷波山先生、洋画家の森田茂先生をはじめ地元の方の美術品が展示されております。そして、現在活躍中のオペラ歌手中丸三千繪さんのふるさとでもあります。伝統文化であふれているこの街を、大切にしていきたいです。



association profile

団体名	筑西市ネットワーク協議会
設立年	平成18年
会長名	関根 静子
会員数	118名

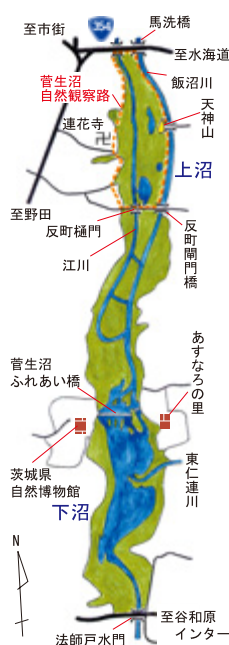
- 主な活動
- ・あいさつ運動
 - ・PR運動
 - ・地球温暖化防止運動
 - ・歴史と伝統を守り地区のイベント協力
 - ・環境美化運動

菅生沼の小さな花々

小さな自然

菅生沼は坂東市と常総市の境にあり、南北5キロメートル、東西の幅は200～500メートルという細長い沼で、江川、飯沼川、東仁連川という三本の川が流れ込んでおり、下沼を経て法師戸水門から利根川へと注ぎます。地元では反町堤を境に上沼、下沼と呼んでいます。

菅生沼はコハクチョウの飛来地としても有名ですが、それだけではなく、人知れず咲く小さい花々も見られ、その魅力にも気づいていただきたいのです。「いばらきヘルスロード」に指定されている



タコノアシ

約4キロメートルの遊歩道は上沼の周辺をぐるりと散策する事ができます。その一角、蓮花寺の近くに「ミソソバ」というピンクの花が群生します。下の写真です。このような可愛い花がたくさん咲いています。また、茹でた蛸を逆にしたような「タコノアシ」という珍



ミソソバ

しい植物も見られます。上の写真です。その他にも菅生沼周辺全体では500種を超える植物が確認されており、ただ、絶滅の危機に瀕しているものも少なくありません。そして、野鳥に関しては冬のコハクチョウ、カモ類、シギ、チドリ類の渡り鳥やオオタカ、ノスリといった猛禽類も多く見られますが、菅生沼の水面が年々狭まり、乾燥化がすすんでいるため、少なくとも今の自然環境を維持しなければこれらの可愛い花々も見られなくなってしまうです。

association profile

団体名 坂東市ネットワークーカード連絡協議会

設立年 平成17年

会長名 飯住 澄夫

会員数 26名

主な活動

- 5月 総会
- 7月 公民館まつり 啓発活動
高齢者美術展手伝い
- 9月 敬老会手伝い
- 10月 元気いっぱいまつり(福祉まつり)
- 11月 菅生沼エコアップ大作戦
- 12月末～1月始め 年末年始交通安全広報活動
- 2月 障害者ボウリング大会手伝い

その他 市役所、社会福祉協議会から手伝いの依頼有

人ひとりが問題意識を持って取り組まなければならない時期に来ていると思います

※作成に当たりましては、坂東市ネットワークーカード連絡協議会会員であり、「菅生沼に親しむ会」の代表でもある羽鳥稔氏に資料を拝借致しました。



稲敷市 稲敷市ネットワークーカ

米どころ稲敷市

自慢の一品「稲しきのあげ餅」



米どころが育てた「あげ餅」

私たちの故郷「稲敷市」は、稲敷台地と霞ヶ浦、利根川、新利根川などの水辺に育まれた広大な水田地帯が広がっています。

古くから稲作が盛んで、ミルキークイーンやコシヒカリなどをはじめ美味しいお米の産地です。

そんな美味しいお米を使って、私たちの故郷では、それぞれの家庭であげ餅をつくってきました。

昔からお茶菓子や子どものおやつとして食され、人々が集まると



ここで会話を笑い声とともに、地域の食文化として根付いてきました。

「干した」のし餅を油で揚げる「あげ餅」の作り方はこれだけです。

でも、「つき方」、「し方」、「干し方」、「揚げ方」は、作る人や家庭によって違います。そして、干した「のし餅」は、驚くほどに様々な味、形、食感を持つ「あげ餅」となります。

「稲しきのあげ餅」は、稲敷自慢の米を、稲敷の人が、それぞれの

作り方で作った自慢のあげ餅です。

豊かな自然と地域の食文化が生んだ「稲しきのあげ餅」をどうぞご賞味ください。

「稲しきのあげ餅」はどこで食べられるの？

「稲しきのあげ餅」は主に稲敷市内直売所で販売しております。市内にお越しの際は是非、お立ち寄りの上、お買い求めください。



association profile

団体名 稲敷市ネットワークーカ

設立年 —

会長名 —

会員数 30名

主な活動 大好き いばらき 県民会議への活動協力 等

「稲しきのあげ餅」が食べられる主な直売所一覧

直売所名	住所	備考
稲敷直売所	稲敷市柴崎9188	定休:第2火曜日
直売所浮島	稲敷市浮島6074	定休:水曜日
さくらがわ直売センター	稲敷市神宮寺759	定休:水曜日
清涼市	稲敷市幸田1239-5	営業:土日のみ
ゴットマザー市	稲敷市浮島4565-1	営業:土のみ



かすみがうら市

霞ヶ浦地区ネットワークカー等連絡協議会
千代田地区ネットワークカー等連絡協議会



雄大な霞ヶ浦と

自然豊かな里山

『霞ヶ浦の風物詩』 『帆引き船』

霞ヶ浦の風物詩である帆引き船を使った漁法は、かすみがうら市に生まれた折本良平氏によって考案されたものです。霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化遺産であることから観光帆引き船で復活しています。

7月下旬から11月下旬の日曜日に操業しており、随伴船に乗って見学や写真撮影ができます。

また、帆引き船が「訪ねてみたい21世紀に残す日本の風景百選」に県内で唯一選ばれたことをきっかけに、『霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会』を立ち上げ、帆引き船を地域おこしに活かそうと『霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト』を開催しています。



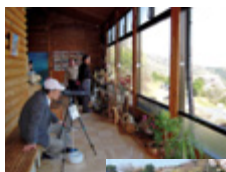
『自然豊かな里山』 『雪入ふれあいの里公園』

市の北西、筑波山系の南端に雪入山の地形を利用してつくられた「雪入ふれあいの里公園」があります。公園内のネイチャーセンターでは森を模したジオラマ展示室や立体ハイビジョンシアターなど様々な自然を楽しむことができます。展望広場からは、雄大な地平線と霞ヶ浦を望むことができます。

また、雪入山付近には約3千本の山桜が群生しています。「成沢の山桜」と称され、人の手がまったく加えられていない自然のままの美しさから、「茨城の自然百選」のひとつとなっています。特に、春は山桜と合わせ林道沿いの吉野桜、梨、桃などの花が咲きほころび桃源郷となります。

この公園のボランティアとして、『雪入友の会』の皆さんが活動しています。ネットワークカーから

も4名が会員として参加し、自然講座の支援、園内見学、ガイド、ビオトープ、野草園、園周辺のハイキングコースの点検整備支援に取り組んでいます。



メッセージ

かすみがうら市は、四季折々の色彩豊かな自然が自慢です。

観光帆引き船の操業の際は、随伴船から真っ白い帆を広げた帆引き船の勇壮な姿を見ることがができます。また、秋の雪入山では木々が赤く色づく中で快いハイキングが楽しめます。

ぜひ、かすみがうら市においてください。

association profile

団体名 千代田地区
ネットワークカー等連絡協議会

設立年 平成15年

会長名 坂部 幸子

会員数 17名

主な活動 「花の道事業」に参加し、市の環境美化、緑化推進に協力。また、「かすみがうら祭」では、アクリルたわし作りや会場内清掃、啓発品の配布を行っています。

association profile

団体名 霞ヶ浦地区
ネットワークカー等連絡協議会

設立年 平成10年

会長名 額田 源衛

会員数 11名

主な活動 市のイベント「あゆみ祭り」において啓発品を配布する等県民運動の普及・啓発に努めています。

「やまゆり」の里づくり



水戸線に大和駅という小さな駅があることをご存知でしょうか。

大和駅は昭和63年に誕生しました。もちろん無人駅です。でも地域の皆さんから愛されている駅です。

平成19年、この駅を舞台にまちづくりをしようとする地元住民が立ち上がりました。「いきいき駅サイト実行委員会」の皆さんです。駅舎内に手作りのテーブルやイスを置き、また、壁には展示ボードを貼り、作品展などができる休憩施設に作り変えました。また、春にはお雛様、初夏には鯉のぼり、夏には七夕飾りと、子どもからお年

寄りまでがふれあえる交流イベントなどを開催してきました。

このような中、同実行委員会では平成20年から、身近な自然に親しめるように、駅前の池に大賀ハスを植え、また、駅北側にある山林の環境整備にも取り組み始めました。

ちょうどそのようなとき、桜川市ネットワークカー協議会では市の花である「やまゆり」を植えたいと場所を探していました。

もう言うまでもありません。この2団体が協働して「やまゆりの里づくり」が始まりました。

平成21年から毎年秋にやまゆりの球根約50個を植え、みんなで大切に守つてきました。

そして今年の夏、雑木林だった山林にちらほらとやまゆりの姿を見ることができるようになりました。花の数はまだま

だ少ないですが、手作りによる「やまゆりの里」です。その嬉しさも手伝い7月中旬にはやまゆり交流会が開かれました。みんなでバークューを楽しみながら、これからの里づくりを話し合いました。

協働することの大切さ、ひとつの団体ではできないことも他団体とつながることでも色んなことができるようになります。苦労は半分、喜びは2倍にも3倍にもなります。

「来年はやまゆりまつりを開催しましょう」駅前の大賀ハスも咲くからそれも見てもらいましょう」皆さんの夢もますます大きくなってきました。

まだ自慢できる里ではありませんが、思いがあればいつかその夢は実現します。駅を降りたらそこはやまゆりの里：可憐なやまゆりに囲まれる駅があってもいいではありません。

線路が続くように、

私たちの夢も続いています。小さな小さな大和駅を舞台にした夢物語。この夢こそが私たちのふるさと自慢です。



association profile

団体名 桜川市ネットワークカー協議会

設立年 平成19年6月

会長名 田中 孝一

会員数 36名

主な活動 やまゆりの里づくり

※平成23年度大好きいばらきふるさと自慢大会出場
詳しくは46ページ参照

小学生が郷土の無形文化財

「ささら舞」受け継ぐ



「伝え守る郷土の大切な宝」

神栖市田畑地区に古くから伝わる獅子舞「ささら舞」は、五穀豊穡や無病息災を祈願して行われていた期間もありましたが、地元で再生の声が上がり、現在に受け継がれています。

色とりどりの御幣を持った舞師・ささら子・供奉の一行は、「道あり」と呼ばれる曲に合わせて秋の実りと、村の繁栄、家内安全を念じながら、集落内を一軒一軒廻り、白鳥神社に舞を奉納します。

昭和初期のころまでは近郊の名物であり、早朝から露天商の連なる境内は子連れで賑わっていました。



今年のささら舞奉納祭りは、7月31日(日)

しかし、年々地域で踊る人の数が減り伝統文化の継承を懸念した保存会の方々による、地区の小学校への呼びかけが契機となつて平成12年より市立軽野小学校の教育の一環として「ささら舞」が取り入れられるようになりました。

同校では、自分の育った町の伝統や文化を学び、身につけていくことは、先人たちの営み、願い、知恵に気づき、故郷への誇りと愛着をもった子どもたちを育てることができると考え、市指定無形文化財である「ささら舞」を5年生の総合的学習に取り上げています。保存会の指導により、舞を習得し、地区の神社・収穫祭(軽野フェスティバル)・市の産業祭等で発表しています。

鹿島開発から50有余年、工業商業の発展とともに農業・漁業においてもバランスよい発展を目指す神栖市において、将来を担う子どもたちの豊かな心を育む伝統文化継承は大きな意義を持つ教育と

して、自慢できることのひとつです。

「神栖市民音楽祭」の発案、実行委員会の立ち上げ

設立記念事業として、神栖市が、旧神栖町と旧波崎町との合併3周年を迎えたことを契機に、「音楽」を通して「街の賑わい」と音楽の和によるまちづくりを目指すとして、「神栖市民音楽祭2008」の開催を発案し、実行委員として参加しました。加えて、市民に広く呼びかけ、公募により実行委員会を設立しました。企画の段階では資金の問題、指導者、練習期間の問題等、大変困難を極めることに直面しましたが、委員達の熱い情熱と実行力で、何とか乗り切ることができ、平成20年12月28日に、神栖市文化センターにおいて、音楽祭の開催を実現することができました。第一部は8組の市民バンドによる演奏会、二部は初心者から80歳までの幅広いメンバー130人による、ベートーベンの交響曲第9番「歓喜の歌」の合唱を行いました。当日は千名の入場者を得て、出演者と観客席が一体となり、感

動の渦の中に終了することができました。

この事業を通して、人と人との繋がりの手ごたえを感じ、ネットワークの目的である地域づくり活動の一端を担うことができました。

その後も毎年12月の恒例として市民が楽しみにしているイベントの一つとして続けられています。



association profile

団体名 ネットワーカース

設立年 平成19年

会長名 高野 美江子

会員数 31名

主な活動

- ・市内における地域づくり活動
- ・市内におけるエコライフ推進事業
- ・市消費生活展参加、啓発活動
- ・大好きいばらき 県民運動啓発
- ・他市町村との交流・研修

※平成23年度 大好きいばらきふるさと自慢大会出場
詳しくは46ページ参照

玉造生活大学

「手賀地区から眺める霞ヶ浦と自慢の一品」



移ろふ四季を眺める

私たちの誇れるうみ湖として
悠久の歴史を刻んできた「霞ヶ
浦」。

湖岸沿いには、霞ヶ浦の壮大な
情景を眺めることができるスポッ
トが数多く存在しますが、その中
でも手賀地区からの眺めが私たち
の自慢です。

春は、白鳥やカモなどの渡
り鳥をはじめとするいろいろ
な鳥が水辺に浮かび、賑わい
をみせます。

夏は、霞ヶ浦の風景に加え、
7月の第3土曜日曜日にに行わ
れる手賀地区の祇園祭が賑わ
いを添えます。4台の山車が
地区内を巡り、子どもからお
年寄りまで世代を超えた楽し
さと笑顔で溢れます。

そして、秋から冬にかけて
は、澄んだ空気で素晴らしい
映えた景色に魅了されます。
手賀小学校の校庭から眺める
景色はまさに圧巻。目を左か



大好評の
エシヤレットの
「かき揚げ」と
「ワイン漬け」



国民文化祭では七色帆引き船の合同操業が湖面を彩りました

ら右へ馳せると、富士山、牛久の
大仏様、かすみがうら市の出島城、
霞ヶ浦大橋、玉造・虹の塔、筑波山、
日光連山…それは美しいです。
撮影スポットとして、写真愛好家
の人たちがたくさん訪れます。
このほかにも、釣りをする人た
ちが年間を通してたくさん訪れま

「もったいない」から 「自慢の一品」へ

規格外食材は、店頭に並ぶこと
なく、「ゴミ」として処分されてしま
うことがあります。美味しさは変
わらないのに、もったいない!!

そのような思いから、規格外食
材を活かそうと、地元行方産で茨
城県銘柄品でもある「エシヤレッ
ト」の規格外を活用した料理作り
を行っています。

JAなめがたが製作した料理レ
シピを参考に「ワイン漬け」や
「かき揚げ」を作りましたが、これ
が大好評。先日開催された「鹿行
地区生活学校研究会」では、行方
市長を招待し、参加者98名と一緒
に試食していただきました。

顔の見える生産者のものは安心
して食することができます。これ
からも機会があるごとに調理し、
自慢の一品として広めていきます。

す。たくさん魚も獲れるし、た
くさんの美味しいものもあります。
とても住みやすい所…私たちが
はそう思っています。不思議なこ
とに、台風も霞ヶ浦をよけて通り
過ぎて行ってくれます。
本当に良い所ですよ。

メッセージ

分らないこと、できないこと
は教えてくださーい!!
私たちができることは一緒に楽
かりましょう。

玉造生活大学のプロフィール

設立年 昭和47年

会長名 桜井 和子

会員数 28名

主な活動

「身近な生活に関わるさまざまな課
題を、生活者の視点で捉え解決し
よう」を基本理念として、各種イベン
トに参加し、牛乳パックを利用した
小物づくりを行うなどの活動をして
いるボランティア団体である。

association profile

団体名 行方市ネットワークカー

会員数 33名

主な活動 大好きいばらき 県民会議へ
の活動協力 等

鉾山春囃子保存会

鉾田市旭地区の鉾山区で伝わる鉾山春囃子は、無病息災・五穀豊穡・商売繁盛を祈願する鉾山神社の祭礼として、地区の全戸が参加して始まったもので、数百年の歴史を持つといわれています。

長らく地区の伝統文化として伝承されてきた鉾山春囃子ですが、戦後の経済成長に伴い地区の生活環境が激変し、祭りへの参加者も減少したことで次第に衰退、地区内から春囃子を廃止する声も挙がりました。

しかし、鉾山春囃子を存続させたいという地区の方々
の想いから存続運動がおこり、それを機に、20数名の有志によって、鉾山春囃子保存会が結成され、春囃子を存続し、未来へ伝承していくための



活動をおこなってきました。

そして2008年、鉾田の特産物であるメロンやスイカ、地域での暮らしや自然の情景を織り込んだ鉾山地区オリジナルの「鉾山音頭」が、地区住民の方々によって作成されました。「地域で歌い、踊られ、地域の輪を担う存在となれば」との想いで作成されたこの鉾山音頭は、現在では地区の行事やお祭りなど、様々な場面で披露され、鉾山春囃子と共に、住民の気持ちを一つにし、地域の輪を広めるものとして、広く地区の方々から受け入れられています。

今年も、地区内の様々な行事で鉾山春囃子と鉾山音頭が披露されています。
2月9日には鉾山春囃子が行われ



ました。これは一年間の無病息災・五穀豊穡・商売繁盛を祈願しおこなわれるもので、囃し歌を歌いながら地区集落を練り歩き、開運福もちと名付けられた紅白のお餅が、集まった地区の皆さんや道行く子どもたちなど、多くの方々に配られました。

また、8月20日に地区の集落センターにて開催された鉾山納涼祭では、地元の小学生が太鼓を演奏し、老若男女問わず地区の方々から輪になって鉾山音頭を踊りました。

これらの鉾山春囃子や鉾山音頭は、ご高齢の方から子どもたちまで、幅広く地区の方々参加する三世代交流の機会となっており、その中で、地区の伝統文化としてしっかりと次の世代に受け継がれています。

メッセージ

鉾山春囃子保存会では、地区の伝統文化である鉾山春囃子と鉾山音頭を伝承し、地区の活力としていくよう、今後も精力的に活動を行っていきます。

association profile

団体名 鉾田市ネットワーク等連絡協議会
設立年 平成10年
会長名 —
会員数 19名

主な活動 大好きいばらき 県民会議等への事業協力 等





つくばみらい市

つくばみらい市ネットワークカー等連絡協議会
やわらネットワークカー連絡協議会

花と歴史かおる街

つくばみらい

市の概要

茨城県の南西部、都心から40キロメートル圏にあり、鬼怒川、小貝川が流れています。小貝川沿いには、広大な水田地帯が広がり、丘陵部は畑地、四つのゴルフ場、工業団地、住宅地が形成されています。道路網は、縦軸に国道294号、横軸に国道354号、市の中央部を常磐自動車道が走り、谷和原インターチェンジなど交通の利便が図られています。

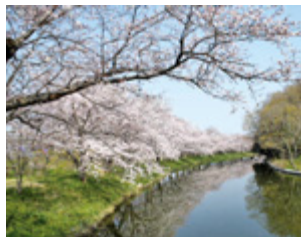
鉄道網では、国道294号と並行に関東鉄道常総線が走り、小絹駅周辺には、常総ニュータウン開発が行われ、人口が大きく伸びました。平成17年には、東京秋葉原とつくば市を結ぶ「つくばエクスプレス」が開業し、みらい平駅から秋葉原まで40分、つくばまで12分で結ばれました。

みらい平駅周辺では、県が主体となった優良な住宅地が整備され、今後の新しいまちづくりが期待されているところです。

桜のトンネル1.8キロ 福岡堰の桜並木

福岡堰は、市の最北端、常総市との境にあり、岡堰、豊田堰とともに関東三大堰に数えられています。小貝川と堰から流れる導水路の間には、約550本の桜が1.8キロメートルに渡って延び、開花期には見事な景観を作り上げます。その美しさから付近一帯は、茨城観光百選にも指定されています。

「茨城自然百景 平成元年認定
「疎水百選」平成18年認定



江戸時代へタイムスリップ ワープステーション江戸

江戸時代の街並みを再現したワープステーション江戸。

首都圏で唯一の時代劇オープンセットをもつ施設は、江戸城大手門、武家屋敷、長屋門、見附などが堀と一体となったダイナミックな景観を楽しめる江戸城ゾーンと、日本橋を中心とした大店街や町屋、廻船問屋などの賑わいを楽しめる江戸の町ゾーンで構成されています。

さらに撮影フィールドとして、映画・テレビ・コマーシャルなどの撮影が行われています。最近では、N

HK大河ドラマの「龍馬伝」や「江」をはじめ、TBS系ドラマの「仁」などが撮影されました。目の前でロケ風景が見れるかも……。



association profile

団体名 つくばみらい市ネットワークカー等連絡協議会

設立年 平成14年

会長名 占部 雄一郎

会員数 20名

主な活動
・環境ボランティア
・福祉ボランティア
・動物愛護ボランティア 等

association profile

団体名 やわらネットワークカー連絡協議会

設立年 平成18年

会長名 安藤 幸子

会員数 9名

主な活動 大好き いばらき 県民会議への活動協力等



小美玉市

小美玉ネット

豊かな自然と

空の玄関・茨城空港



私たち、小美玉市のネットワーカーのおすすめスポットは、旧玉里村の霞ヶ浦湖畔から見る「筑波山」の眺めです。ここから見る山の形の良さはどこにも負けないと自負しております。

この眺めは玉里村出身の切絵作家「滝平一郎」の切絵にもなり、見る人に深い感動を与えています。湖畔にはれんこん田も広がり、夏には美しいハスの花が目を楽しませてくれます。

秋はコスモスと黄金色の水田が広がり、霞ヶ浦湖面には白鳥をはじめ色々な水鳥が遊び、湖畔には釣り糸をたれる人たちの姿もあり、のどかな風景はいつまでも変って欲しくない私たちの宝物です。

小美玉ネットでは、この美しい風景がいつまでも続くよう、定期



的に湖畔の清掃活動をいつでもみんなが楽しく元気に続けていけるのは、この美しい自然の中から私たちは元気をもらっているからではないかと感じています。

もう一つの自慢のスポットは茨城空港です。二年目に入った今も、利用者も増え、色々なイベントが行われています。

そのなかでも空港公園で行われる市の産業祭には沢山の来場者があり、小美玉ネットも環境にやさしいアクリルタワシの普及活動や大好きいばらき県民会議の啓発グッズの配布をして来場者とのコミュニケーションを楽しみながら活動をしています。

空港を見学に来た他市町村のネットワーカー団体から交流を申し込まれ、平成22年の12月に、常陸太田ネットワーカーと情報交換をするなど楽しい交流をしました。

現在、市においては茨城空港を核とした賑わいづくりを目的とした「空の駅」整備事業計画をすすめており、これからが楽しい茨城空港です。

みなさんもぜひ茨城空港をご利用ください。



association profile

団体名 小美玉ネット

設立年 平成18年

会長名 沼田 マサ

会員数 25名

主な活動

- ・霞ヶ浦沿岸清掃
(6月・11月の年2回)
- ・アクリルタワシの普及活動
(市のイベント等で啓発・販売)





朝もやの涸沼と

夕照の筑波を眺める



朝日 佐藤宗文写真集より

涸沼は茨城町の東に位置し、水面を大きく漂わせております。笠間市の北部にある標高392メートルの国見山の中腹を水源に、旧友部町を経て茨城町の涸沼となつて川幅を広げ、銚田市の旧旭村を経て、大洗町的那珂川合流点までの約6.45キロメートルの一級

河川涸沼川であります。途中稲田川、涸沼前川、寛政川などが地域の水を運び入れ、常に一定の水量を保ちながら、肥沃な水田地帯を潤しています。涸沼は涸沼川の一部でありますが、川幅が約1500メートルと広くなつており、その面積は約9.4平方キロメートル、周囲を約22キロメートルの大きな池と見なし、茨城百景の一つとして古くから県民、町民に親しまれてきました。現在は涸沼一帯を大洗県立自然公園として位置づけされております。満潮時、那珂川河口から遡上する海水は、涸沼へ貯留し汽水湖として、近海魚の生息やシジミの繁殖が古来から見られ、涸沼川沿岸には縄文文化も発達しました。その後江戸の時代には、物資を運ぶための水上ルートが発達しました。涸沼という文字には「水のかれた沼」という意味があります。時代を経て、この涸沼の美しさは、公共資源としての利用率も高く、既得権

が多く、新しい水利権を得ることは困難な状況であります。これら湖沼の必要性を将来に受け繋いでいくための努力は、苦労でもあり楽しみでもあります。涸沼を何処の誰でも都合の良く、使い勝手のある公共施設でおくために、次世代の町民が何のわたかまりもなく、素直に受け継いでくれるよう、我々、先を歩む者たちは、日々努力を惜しまず、汽水湖としての涸沼を守り抜いていかなければなりません。



初秋の風はつめたい 佐藤宗文写真集より

association profile

団体名 茨城町ネットワーク等連絡協議会
設立年 平成15年
会長名 照沼一美
会員数 19名

主な活動
・涸沼周辺クリーン作戦への参加
・町環境美化運動として清掃活動の実施等



明日へのなごりに夕焼けはまもなく群青色の筑波を 佐藤宗文写真集より

大洗さまの祭事と民謡磯節



ネットワークカーが一堂に会し、大洗町のふるさと自慢を挙げました。たくさん出ましたが、断腸の思いで、大洗さまの祭事と民謡磯節の二つに絞りました。

大洗さまと呼ばれる、大洗磯前神社は、神磯鳥居の上に昇る初日の出、8月下旬に行なわれる五穀豊穡と人々の生活安定を祈る八朔祭、11月の幼児の虫切りに効く有



賀祭はあまりにも有名です。そこで、あんこう奉納包丁式を紹介します。

奉納包丁式は平安時代に宮中に献上したことに端を発し、日本各地で行なわれています。あんこうの魚を用いた奉納包丁式は、非常に珍しく、冬のあんこう料理(鍋や共酢)の季節を前に、神社の境内に設けられた祭壇で行われます。衣冠束帯姿の料理人が食材の生命に感謝し、右手に包丁刀、左手に真魚箸を持ち、まな板の上に置かれたあんこうに手を触れることなく切り分け、肝、ひれ、卵巣、肉、胃袋、えら、皮の七つの宝を、大洗神社に奉納します。たくさんの方に見て頂きたい儀式です。

磯節は、茨城県を代表する民謡ですが、大洗を発祥の地とすることが、あまり知られておらず、大洗町に観光や海水浴に訪れた方々が、磯節に触れる機会はほとんどありません。日本三大民謡「磯節発祥の地碑」が、大洗海岸沿いに

ある大洗観光情報センター裏の松林の中にあり、その場に立つと両脇のスピーカーから、磯節名人と言われた関根安中演唱の磯節を聞くことができます。



関根安中は、青年時代に失明し按摩を業としていました。24歳の時に名横綱常陸山と出会い、安中の名をもらいました。安中の美声を、常陸山は大変気に入り全国各地の巡業先へ同行させ、磯節を歌わせました。人々は、張りのある素朴な美声に魅了され大変評判となりました。安中の独特な節まわしと唄声で、磯節は全国に広まりました。

また、大洗みなと賑わい推進会では、この磯節をもっとPRしたいと考え、大洗本場磯節保存会と協力して、磯節の発祥の歴史、唄や踊りを収録したDVD「磯節の紹介」を自主制作していて、名人関根安中の唄も収録されています。

ご希望の方には、大洗観光協会やみなと賑わい推進会で、1枚300円で販売しています。また、各公共施設、県図書館にも配布されているため、視聴もできます。

メッセージ

大洗町には、もっともっと紹介したいことがあります。是非、町に来ていただき、たくさんの方に、大洗町の魅力に触れていただきたいです。

association profile

団体名 大洗町ネットワークカー

設立年

会長名

会員数 11名

主な活動 大好きいばらき県民会議への活動協力等

その他 大洗町は、海水浴からマリンスポーツ、北関東最大の広さを誇るビーチリゾートです。



城里町の紹介

2005年2月1日に東茨城郡常北町・桂村・西茨城郡七会村が合併して誕生した城里町は、県の西北部に位置し、町南部は水戸市と笠間市、北部は常陸大宮市と接しています。那珂川や藤井川、皇都川といった清流、御前山をはじめとする山々、美しい自然が残る心やすらぐ町です。



小松寺のしだれ桜

豊かな大地を利用した稲作や園芸作物の栽培が盛んで、レッドポアロー（赤ネギ）、古内茶、有機米、きのこ、梨やりんごなど、数々の食材が町の特産品となっています。特産品直売センター「かつら」や物産センター「山桜」では、これらの野菜・果物等を販売し、好評です。

―公営では全国初のオートキャン



那珂川の清流 那珂川大橋



プ場を備えた「ふれあいの里」、長いすべり台や広いグラウンドが自慢の「うぐいすの里」、そば打ち、コンニャクづくり体験もできる「やまびこの郷」と、山間地の大自然を活用した三か所の野外活動センターが整備され、県内外から多くのキャンパーが訪れています。また、健康増進施設「ホロルの湯」では、温水プール、露天風呂や薬湯、サウナを完備しており、ゆったりとくつろぐことができます。

国の重要文化財に指定されている薬師寺の薬師如来座像と両脇侍像、平重盛公墳墓で知られる小松寺の浮彫如意輪観音像などの文化財、岐阜県の飛騨春慶・秋田県の能代春慶とともに日本三大春慶に数えられる「栗野春慶塗」や桂の雛人形などの伝統工芸が有名です。



association profile

団体名 城里町ネットワーク

設立年 —

会長名 —

会員数 16名

主な活動 大好きいばらき 県民会議への活動協力 等



町の木スダジイ（コミュニティセンター城里敷地内）

水戸藩郡奉行所の記録 文化六年 石神組御用留



石神とは、東海村石神外宿地名のことです。

茨城大学図書館のなかに、水で浸けられたことがあったのか、頁と頁が圧着し、岩の塊のような古文書が見つかりました。岩の塊のようであった古文書の表書きは『文化六年 石神組御用留』、奉行所の公式文書でした。

専門家の技術で一枚一枚はがし、ところどころ文字が欠けてい



「文化六年石神組御用留」外観と表紙
(茨城大学図書館所蔵)

て解説は困難をきわめたようでした。東海村の「古文書を読む会」の人たちと茨城大学の教授や職員・学生が連携して全文を解説し、極めて貴重な学術的資料であることが分かりました。

水戸藩の歴史は、義公(光圀)の前期と烈公(公良昭)の後期の治世が有名ですが、中間である寛政・文化時代の文公(治保)・武公(治紀)がとても重要でした。この時期、水戸藩は財政の面でも藩人口の面でも、大改革を行ったことで危機を持ちこたえました。この

改革は「きめの細かな農政」で、郡奉行所を農村に配置し、農村が疲弊せぬよう、百姓を「厚くお世話」させることにより、人口を増やさせ、地場の産業振興を図るものでした。それまで四郡制のもとで水戸城下に置かれてい

た郡奉行所を10組に改め、そのうち8人は各所に陣屋をつくり、郡部に引き移って細やかな政治を行いました。

石神陣屋は享和2年(1802)からはいまり、文政7年7月(1824)には海防のため河原子村(日立市)に移されました。天保2年(1831)斉昭の天保の改革で在郡奉行制は廃止となり、四郡制に戻されました。石神組郡奉行所陣屋跡は現在の東海村石神外宿字塚越の外宿浄水場付近にあったと推定されます。

陣屋の北には久慈川が流れ、東には磐城相馬街道(現6号国道)が通っており、宿場がおかれ川端には渡船場がありました。石神組の管轄は、北は日立市、南はひたちなか市の一部、西は常陸太田市・



石神組管轄地域地図

(国土地理院 1:200,000地勢図
「水戸(発行2005年)」 「白河(発行2007年)」

那珂市の一部にかかり、東は太平洋に面していました。

このような政治の要の施設が江戸時代のこの地にあったということとは、あまり知られておらず郷土の誇りともいえる存在です。また「古文書を読む会」のメンバーと茨城大学との共同作業で解説し、村の支援で翻刻出版されたことも、郷土を愛する人づくり文化づくりの快挙といえるでしょう。「文化六年 石神組御用留」原本は茨城大学図書館にあり、デジタル化され公開されています。東海村でも翻刻版が、村図書館でも閲覧が可能です。

(出典 石神組御用留翻刻版 他)

association profile

団体名	大好きいばらき東海村地域推進会議
設立年	平成16年
会長名	安 節子
会員数	9名
主な活動	大好きいばらき 県民会議の活動等

八溝山の梵天祭と

ぼんてんさい

下野宮の御田植祭



ふるさとのお祭り

大子町には、上野宮八溝嶺神社の梵天をはじめ、下野宮近津神社の御田植、下金沢十二所神社の流鏑馬、浅川熊野神社のささら等の神事があります。これらの中から八溝嶺神社の梵天と近津神社の御田植について紹介しましょう。

◎八溝の梵天

八溝山は、茨城、栃木、福島の三県の境に位置する標高1022メートルの山です。八溝山は、往古は産金の山であり、天台系の山林修業山でした。また、村々の田畑を潤し、五穀豊穡をもたらす久慈川水源地の霊山でもありました。

この八溝山の山頂に八溝嶺神社が鎮座しています。八溝嶺神社の祭りの一つ



八溝山の梵天祭



集落から山頂までは距離もあり、民家のある所は担い山間の道や急峻な坂道などは自動車では自動車で移動します。神殿前に着

に梵天と呼ばれる神事があります。祭りは旧4月17日でしたが、現在は、三年に一度5月3日に行われています。

祭礼にあたっては、「昔は三原の氏子の人たちが4〜5本の梵天の奉納があった」といいます。現在は、黒沢地区全体で行っています。木に金紙や銀紙を貼った1.5メートル位の鉾を中心に、前年収穫された作物、稲、干びょう、芋がら、餅などを取り付け、御輿に似た梵天をつくりまします。これを若者の手によって、もみ合いながら山頂まで担いで行きます。最近

いた梵天は、再び境内でもみ合い、最後は神社に奉納されて祭りは終わります。梵天は、他の地方に類を見ない五穀豊穡の祈願です。

◎下野宮の御田植

下野宮近津神社の御田植は、夏至の日に行われます。別名中田植といわれます。中は夏至のことであり、旧5月、夏の真ん中に当たります。この御田植祭がいつ頃から行われてきているかは、はっきりしませんが、光圀寄進の神饌田において行われたという伝えがあり、江戸時代の前期頃といわれています。

この日は、神殿で祝詞奏上後御田植歌などの奉納があり、その後御田植祭に入ります。御田植はお囃子の舞台で太鼓、笛、鼓、鉦の奏楽に合わせて苗取り歌と田植歌が歌われる中で、そら色の上衣に赤だすきをかけ、赤いもんべをはき、菅笠をかぶった、色彩豊かな姿の15人の早乙女たちによって行われます。

メッセージ

八溝の梵天祭は、三年に一度5月3日に行われます。連休と重な

り、新緑の八溝山頂は、五穀豊穡、家内安全を祈願する大勢の人たちでにぎわいます。



下野宮の御田植祭

御田植祭は、豊作とあわせて農病みしないことを願い、栃木、福島方面からも大勢の人が集まり、初夏を彩る名物祭りとなっています。神饌田の一部は、一般の参拝者にも開放されます。参拝者は、神饌田に入って苗を植え五穀豊穡と家内安全を祈願することができます。

association profile

団体名 大子町ネットワークカー協議会

設立年 平成20年

会長名 神長 富子

会員数 17名

主な活動
・各種町行事への協力
・ネットワークカー花壇運営

その他 奥久慈トレイルレース係

霞ヶ浦のほとり

まがき

「馬掛」からの霞ヶ浦眺望

わがふるさと美浦村

美浦村は霞ヶ浦南岸に所在し、田園風景の広がる人口約1万7千人の村です。なかでも安中中学校区は霞ヶ浦に突き出た部分に位置し、自然豊かな環境が現在も随所に残されています。

また、美浦村は日本中央競馬会的美浦トレーニング・センターが立地しています。南北に二つの調教コースを備え、競走馬を2千3百頭収容できる厩舎が整備され、競走馬の調教が行われています。厩務員の方など、関係者が5千人以上働いています。

霞ヶ浦と美浦村

霞ヶ浦は、面積が220平方キロメートルで、琵琶湖に次いで日本で二番目に大きい湖です。流域面積は2156.7平方キロメートル（茨城県の面積の約35%）となり、こちらは全国一位です。

もともとは塩分が混じる「汽水湖」でしたが、昭和38年に治水と



塩害防止を目的にして竣工した「常陸川水門（逆水門）」が完成したことにより、現在はほぼ「淡水湖」となっています。ワカサギや川エビなど漁業資源も豊富で、水産加工業が発達してきました。

湖岸の高台に登ると、眼下に緑の田んぼと穏やかな霞ヶ浦の水の色が広がります。霞ヶ浦越しに筑波山が一望でき、素晴らしい眺めです。

安中地区の中でも特に霞ヶ浦に面した「馬掛地区」は、茨城百選と自然百選に選ばれるとともに、良好な自然状態を保持している地域として茨城県県の環境保全地域にも指定されています。

馬掛不動と陸平貝塚

馬掛不動は、その昔霞ヶ浦の淵に祭られていましたが、湖に没したため成就院に一時的に移されました。宝永3年6月から現在の場所の朱塗りのお堂に祭られています。「安産不動」として古くから知られ、かつては近隣より多くの参詣者が訪れたといわれています。現在でも清水が湧き、清水蟹が生息していて、昔は滝が流れていたといわれています。

湖岸から不動堂にいたる急な階段を上る途中には、およそ12万年前この台地が海の底に沈んでいたことを示す「貝化石層」があり、周辺には縄文時代の貝塚遺跡が、数多く残されています。

馬掛から見て南西に位置する「陸平貝塚」は縄文時代の貝塚遺跡で、国史跡指定です。明治12年に、当時東京大学の学生であった佐々木忠一郎と飯島魁の二人が、初めて日本人だけで発掘調査を行った遺跡で「日本考古学の原点」としてその名をとめています。

現在は貝塚の麓に「美浦村埋蔵文化財センター」が建設され、貴重な遺物を保存・活用しています。毎年秋には、「陸平縄文ムラ

まつり」が開催され、美浦村の方のみならず、多くの方々が賑わいます。



陸平貝塚から出土した土器

メッセージ

幸いなことに、美浦村には「霞ヶ浦」を中心とした自然が多く残されています。高齢化や人口減少など、さまざまな問題がありますが、自然と「共生」を図りながら、大好き美浦村ネットワークカー協議会として「豊かな村づくり」に協力していきたいと思っています。

association profile

団体名 大好き美浦村
ネットワークカー協議会

設立年 平成20年

会長名 海道 民子

会員数 23名

主な活動 大好きいばらき 県民運動への参加及び県民運動の普及と、会員各自の活動

阿見町へいらつしやい！



阿見町のおすすめスポット

阿見町は茨城県南部の稲敷台地の比較的起伏の少ない地形に存しています。圏央道阿見東一Cそばに「あみプレミアムアウトレット」が開設され500万人以上の来場者を迎えている一方、天然記念物の大鷹の宮果が確認されました。また、日本のため池百選の一つに選定された神田池や碧く輝く水をたたえた霞ヶ浦を望む眺めなど、空と水と緑の美しい自然を誇る豊かな町です。江戸時代には仙台藩の飛び領地であったことから、阿見町の追原という地区に位置する蔵福寺には伊達氏より棟木が贈られたとの古文書の記録もあり、参勤交代の折にはこの寺がご休憩所となっていたと聞きます。

さて、そんな阿見町のおすすめスポットは平成22年2月にオープンした「予科練平和記念館」です。阿見町は、大正・昭和の時代には日本全国から選抜された若人が搭乗員としての基礎訓練をおこなっ

た「予科練」があった町として、近年注目を集めています。かつての若人の思いや戦争の記録、平和への希求を広く全国に発信していること、見学しやすく理解しやすい施設として開設されたのが、この「予科練平和記念館」なのです。

その他にも、阿見町の魅力を感じながら楽しめるスポットやイベントがたくさんありますので、皆さんぜひ阿見町へいらつしやってください。

私達の地域活動

茨城県は日本全国の農業生産量の二位・三位を競う農業県ですが、畑地面積は1980年に比べると二分の一に激減しています。そこで私たちは、この解消に少しでも役立てばと遊休農地を使つてのコスモス畑づくりに取り組みました。春先の土起こしは畑の所有者が機械で行ってくださいますが、7月の種まき、8月9月の草取り、10月下旬のコスモス畑のお花見会

は、素人の会員が汗をかきながら楽しみへと繋げていきます。新聞にも取り上げて頂いたり、町民の方からは「土浦方面へ行く時は、わざわざこの前を通つて行くんですよ」という喜ばしい言葉も聞かれます。活動は①成果がみえること②楽しいこと③無理をしないことが長続きのコツと思つて実践しています。そういう意味でもこのコスモス畑は最適な活動だと自画自賛しています。



メッセージ

阿見町の良さは、昨年度より実施しています「阿見町探訪」を通じて改めて感じるようになりました。皆さんもぜひ一度阿見町にいらつしやって、その良さをご自身で体感してみてください。



association profile

団体名 阿見町ネットワーク協議会

設立年 平成20年

会長名 石井 早苗

会員数 36名

主な活動

- ・コスモス畑づくり
- ・役場玄関のウェルカムフラワー
- ・阿見町探訪
- ・大好き いばらき 県民会議事業への参加協力

おかずのいらない

かわちのお米



ふるさと自慢の内容

河内のお米は、おかずもいらないほどおいしい！
皇室の献上米にも選ばれた極上のお米はこうよばれています。
豊かな水と肥沃な大地で太陽の光をいっぱい浴びて育った自慢の逸品、それが「おかずのいらないかわちのお米です」。

なぜにうまい？

河内のお米のおいしい理由

河内のお米がなぜおいしいのか、それはいくつもの厳しい生産基準に合格したものだからです。
では、その生産基準とは何でしょうか。

まず一つ目は、減農薬・減化学肥料栽培。農薬は初期除草剤を一回のみの使用とし、有効微生物を利用した有機資材「かわちエース」を用いて丈夫な稲をつくっています。
二つ目は、選別網(19ミリメートルグレーダー)を使用し、未熟米や小さい米を排除しているこ



と。そして最も特徴的なのが、食味計を使ってお米のおいしさを計っていること。お米がおいしいと言われる食味値77点以上ものだけを合格としています。さらに水分検査や品質判定機による不良品の混合率20%以下といった基準をすべてクリアしたもののだけが、晴れて旨味・艶・粘りのバランスが良く、冷めてもおいしい選別米

「おかずのいらないかわちのお米」となることができるのです。

利根川の氾濫と治水なくして今を語れず

悠々と流れる利根川。かつての河内地方は水害の常襲地帯で、明治になっても三年に一度は洪水となり、人々を悩ませてきました。かつて屋敷地の一角につくら

れていた水塚は、水害の際に避難所として利用されてきたものでした。利根川がもたらしたのは、水害だけではなく。洪水によってもたらされた肥沃な土壌が、米づくりを中心とした農業に適していたことに加え、その豊かな水が河内米のおいしさを支えています。

メッセージ

「ふるさとかわち」と河内町は、首都圏の消費者を招き、地元のプロducerや小学生とともに、田植え体験や収穫祭を行っており、毎回600人以上の人が集まる人気イベントとなっています。

消費者と生産者、小学生が交流を深めながら、農業の素晴らしさを体験し、また会場では「おかず

のいらないかわちのお米」のにおいがふるまわれ、安全安心・高品質、何よりおいしい河内米を実感していただいています。



association profile

団体名 河内町ネットワークカー

設立年 —

会長名 —

会員数 5名

主な活動 大好きいばらき 県民会議
への活動協力 等



八千代町

八千代町ネットワーク等連絡協議会

「自立をめざして！」

地域に密着した活動を展開中☆



八千代町ってどんな町？

活動紹介の前に、八千代町の紹介をしたいと思います。

八千代町は、県の西部にあり、緑の大地が広がる、自然豊かな町です。肥沃と呼ばれる、肥沃な土壌に恵まれ、農業が盛んな地域です。白菜、メロン、梨など、美味しい野菜や果物が収穫出来ることが自慢です☆

活動紹介

八千代町ネットワークカーは現在14名で活動しています。人数は少ないですが、集まると兄妹のように仲良く、楽しく活動しています。

【7月】コスモスの種まき

八千代町立図書館前の畑に、コスモスの種まきを地域の方々と合同で行っています。

秋には綺麗な花を畑一面に咲かせ、図書館に来館した方の目を楽しませています♥

【8月】夏まつりへの参加
毎年、8月に行われる八千代の

夏まつりに参加し、環境美化運動（会場のゴミ拾い）をしています。ゴミのないキレイな会場づくりを目指して、来場者が気持ちよくお祭りを見学出来るよう、活動しています。



【9月】交通安全街頭キャンペーンへの参加（秋の全国交通安全運動）
ドライバーの不注意による悲惨な事故が減ることを祈りながら、

交差点で安全運転の呼びかけを行っています。

【11月】秋まつりへの参加

八千代の秋まつり会場にネットワークカーの展示スペースを設け、大好きいばらき県民運動の普及推進やネットワークカーの活動を紹介しています。他に、牛乳パックの回収や、使用済み切手の回収、環境美化運動を実施しています。

【12月】年末の交通安全街頭キャンペーンへの参加

師走という季節柄、なんとなくバタバタしてしまったり、飲酒する機会が多くなる時期なので、街頭での安全運転の呼びかけにも熱が入ります！

以上、八千代町ネットワーク等連絡協議会では地域に根ざした活動に取り組んでいます♪

これからの活動目標

今までは年間を通して、町や地域コミュニティの行事に、お手伝いという形で参加してきましたが、これからは八千代町ネットワークカーとして何ができるのか、ということを考えてながら、自分たちから町民の皆さんに、何かを発信できればと考えております。

association profile

団体名 八千代町ネットワーク等連絡協議会

設立年 平成14年

会長名 大久保 英男

会員数 14名

主な活動 大好きいばらき 県民会議への活動協力 等



私たちの大好きな五霞町



ふるさと自慢の内容 その1

私たちの五霞町の自慢、一つ目は道の駅「ごか」です。

道の駅「ごか」には、五霞町や周辺市町の人々が作った新鮮野菜、おいしいコシヒカリなどが並んでいる直売所や五霞町・茨城県の食材をいっぱい使用しているメニューが食べられるレストランがあり、五霞町の人だけでなく、埼玉県や東京などからもたくさんの人たちが来ています。

一番のお薦め、食べてもらいたいのが、「ローズブークまん」です。このローズブークまんは、茨城県銘柄豚「ローズブーク」を使用して、道の駅「ごか」が自社開発したものです。



ふるさと自慢の内容 その2

今では、つくば山でも食べられますので、ぜひ食べてみてください。

また、ローズブークを使ったシウマイ・ぎょうざも販売していて、とてもおいしいです。

私たちの五霞町の自慢、二つ目は町の周囲にある「川」と「水塚」です。

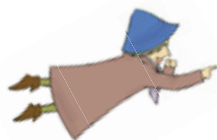
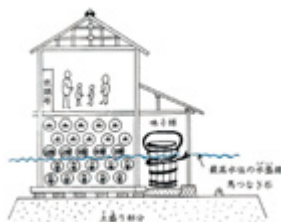
五霞町の周りは、利根川、五霞町で利根川から分岐する江戸川、権現堂調節池（権現堂川）・中川に囲まれていて、茨城県では唯一、利根川の右岸側にあります。河川敷は、自然が豊かで色々な野鳥なども見られます。

豊かな水があることから、町内では水作りを行っている方が多く、町内でとれるコシヒカリは、とてもおいしいです。

しかし、昔から水害に見舞われることが多かった為、ネットワー

カー会員の大澤さん宅には、水塚があります。

水塚は、収穫した農作物や生活用具が水に浸ってしまい、困ってしまった為、家の敷地の一部を右や土などを使って高くして、その上に蔵を作りました。そして、水が出たときには家族がここで生活したり、大切な収穫物を守るために使われたそうです。



association profile

団体名 五霞町ネットワーク・カー連絡協議会

設立年 平成10年

会長名 金子 芳雄

会員数 14名

主な活動

- ・生徒・児童下校時の防犯バトロール
- ・行幸湖(権現堂調節池)クリーン作戦参加
- ・町主催行事への参加



地域の縁結びサポーター



ふるさと自慢の内容

境町には、少子化対策や男女共同参画社会の実現を目指し、幸せな家庭づくりと活力ある地域づくりを目標に結婚支援活動を行う「NPO法人ベル・サポート」があります。

未婚者・離婚者の増加や晩婚化などによる少子化問題に歯止めをかけようと、現代の仲人集団を目指して発足したのが始まりです。主に県西・県南地域を重点的に、出会いパーティーを開催し、結婚相談や研修会等を行ってきました。

縁結びサポーターには、当協議会の会員も在籍していることから、境町のふるさと自慢に推薦します。



ベル・サポートの概要

ベル・サポートは、平成17年5月に設立し、婚活時代の最中、7年目を迎えました。これまでも活動成果を着実に上げてきました。

「いばらき出会いサポートセンター」との共催、「いばらきマリッジサポーター県西・県南地域活動協議会」の後援により、出会いパーティーを開催しています。また、「いばらき出会い応援団体連絡会議」にも加入し、各地域の皆様のご協力を頂きながら、幸せなカップルの誕生に向けた活動を行なっています。

出会いパーティーのご案内はホームページに掲載しており、参加者並びに会員を随時募集中です。

◎平成23年9月末の実績
・会員男性 506名
・会員女性 294名
合計 800名

・出会いパーティー開催数
通算 287回
参加者
男性 5398名
女性 3592名

・お見合い実施数
255組
(パーティーを含む)
(平成23年4月～9月)

・成婚者数 105組

平成22年12月には、いばらき出会いサポーター成婚500組記念式典が行われ、ベル・サポートが功労者として茨城県知事より表彰されました。



ベル・サポート 菊地長吉会長

メッセージ

今後も、ベル・サポートを応援していく上で、当協議会において

も、協力できる体制づくりを整えて行きたいと考えています。このような結婚支援活動が境町から全国に波及することを期待します。



association profile	
団体名	境町ネットワーカー等連絡協議会
設立年	平成10年
会長名	齊藤 勇
会員数	11名
主な活動	・花いっぱい運動 ・朝のあいさつ運動
その他	2ヶ月に1回定例会を開き、活動報告や身の回りの出来事等を和気藹々に談笑しています。



人がふれあう夏の風物詩 ～ 灯籠流し・町民納涼花火～



夏の夜の音と光のハーモニー

我が町の灯籠流し（川施餓鬼とも呼ばれている）は、我孫子市と結ぶ利根川栄橋下に約800個の灯籠を流して、死者、ことに川で亡くなった方の霊を慰めるものといわれ、ゆらゆらと水面に映る淡い灯火が、一帯を幻想的な雰囲気包みます。

これは徳満寺（布川）の布川大師会、布川内宿区の海珠会等が中心となり行われています。その始まりは、江戸時代から続くといわれ、現在は毎年8月17日以降の最初の土曜日に行われています。また同じ日には、利根町民納涼花火大会が開催され、夏の夜空



幻想的な光を放つ灯籠流し



夏の夜空を彩る花火

にドーン！という音とともに綺麗な花火の輪が広がります。会場の利根川河川敷では、盆踊りも行われ見慣れた顔が笑顔を交わします。さまざまな街から迎えた新しい仲間や、故郷に戻ってきた人々の笑顔があふれます。我がネットワーカー協議会では、人と人がふれあう場所での安全安心対策として、警察署のご指導を受け活動しており、町内外の参加者から、たくさんの感謝の言葉をいただいています。

歴史ある徳満寺は必見

徳満寺域は、戦国武将豊島氏が中世紀末期に築いた府川城跡です。現在の「布川」の表記は近世になつてからのものです。これまで府川城は「豊島頼継、頼重、明重の三代の居城」とされてきましたが、布川の豊島家子孫に伝わる「豊島家系図」によれば、南北朝時代の応安2年（1369年）には、既に府川に城を築いていたと記されています。徳満寺境内の西に空堀と土塁、北に徒歩坂等の一部が現存しています。また、徳満寺（真言宗）の地蔵菩薩は「子育て地蔵」と呼ばれ、元禄時代に京都の六波羅密寺より勧請したもので、身丈2.2メートルの立像です。地蔵菩薩は毎年11月24日に御開帳され、次の日曜日まで『地蔵市』が開催されます。例年、多くの参拝者でにぎわいます。



association profile

団体名 利根町ネットワーカー協議会

設立年 平成11年

会長名 西村 重之

会員数 19名

主な活動

- ・交通安全街頭キャンペーン（春・夏・年末）
- ・町内クリーン作戦への参加
- ・町民納涼花火大会（安全対策等）
- ・町民運動会（競技審判等）

その他

行政との連携を大切に、さまざまな行事に参加し、活動が住民の皆様に浸透するよう啓発活動を行っています。



徳満寺の地蔵菩薩

平成23年度

大好き いばらき ふるさと自慢大会

結果報告!!

☆平成23年11月8日、常陸太田市民交流センターパ
ルティホールで『平成23年度 大好き いばらき ふ
るさと自慢大会』を開催しました。常陸太田市立金
砂郷小学校やネットワーカー等連絡協議会13団体
が発表しました。およそ550名が参加し、各地域の
ふるさと自慢を楽しみました。



水戸市ネットワーカー連絡協議会

**万葉の御代から
暮らしに息づく
水の都・水戸の湧水**

水戸の地名の由来や市内に
点在する数多くの湧水を紹介
しました。
湧水と地域の人々とのわか
わりを伝える
と共に、後世
への伝承の必
要性を訴えま
した。



常陸太田市立金砂郷小学校

**西金砂田楽について
調べたこと**

茨城県指定無形民俗文化財
で千年以上前から伝わる、
伝統芸能「西金砂田楽」を紹介
しました。6年生の皆さんが、
田楽で使用する
の道具等を紹介
したり、一
本高足の舞な
どを演習しま
した。



牛久市ネットワーカー連絡協議会

団子で仏様をお出迎え

牛久市桂町で鎌倉時代末期
から伝えられている「団子念
仏」を紹介しました。
御利益があるといわれている
数珠を實際
に客席の皆さんに触って
いただくとい
う場面もあり
ました。



大好きかさまネットワーカー連絡協議会

古今悠々かさま

笠間市内の美しい風景や
歴史的人物をCMとして上映
しました。愛宕山スカイロッ
ジや西念寺の見送り橋をはじ
め、笠間市ゆ
かりの偉人木
村武山・山下
りん等に縁の
ある場所を紹介
しました。



潮来市ネットワーカー連絡協議会

稲荷山公園

潮来市の中心部に位置する
稲荷山公園を、森繁久彌氏「船
頭小唄」の曲に合わせて紹介
しました。野口雨情の名作
「船頭小唄」の
文学碑や色彩
のハーモニー
が楽しめるあ
じさい小道な
どを紹介しま
した。



ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会

**ひたちなか海浜鉄道で行く
歴史スポット那珂湊**

多くの方々に、ひたちな
かの町を知っていただきたい
という思いで、震災後運行再
開を果たした海浜鉄道への
エールを込め
て、ひたちな
か海浜鉄道を
利用した歴史
スポット散策
コースを紹介
しました。



常陸大宮市ネットワーク協議会

常陸の国をまなぶ会

「収穫祭と祭舞」

10月中旬に常陸大宮市の下檜沢地内にある鹿島神社で行われる収穫祭。その一環として披露される、祈りと感謝を表現した「祭舞」を紹介しました。映像を通して、その躍動感を披露しました。



守谷市ネットワーク連絡協議会

町内は皆家 「安全安心なまちづくり 終の棲家をめざして」

市内にある154の町内会の一つ、「下ヶ戸町内会」を紹介しました。活発な地域活動や互いが助け合うという町内会の姿勢が、地域の絆づくりの原点であるというメッセージを送りました。



那珂市ネットワーク連絡協議会

NPO法人夢AKARIと協議会との協働による

「静峰ふるさと公園」でのイベントと景観づくり

夢AKARIと協議会が一緒に取り組んだ「静峰ふるさと公園」の景観づくりを紹介しました。園内に灯される約3千個の灯籠や植栽が実現した約1500株の芝桜を披露しました。

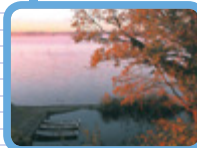


茨城町ネットワーク等連絡協議会

朝もやの瀬沼と

夕照の筑波を眺める

茨城百景のひとつとして古くから県民や町民に親しまれている瀬沼を紹介しました。朝もやの中を朝日に向かってラジミ漁の舟の姿や、夕照の筑波山など、瀬沼の表情豊かな姿は圧巻でした。



ネットワークかみす

小学生が郷土の無形文化財

「ささら舞」受け継ぐ

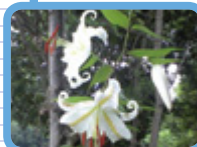
田畑地区に古くから伝わり、軽野小学校で教育の一環として授業に取り入れられている、獅子祭り「ささら舞」を紹介しました。子どもたちの豊かな心を育くむ上で、伝統文化を継承することの大切さを訴えました。



桜川市ネットワーク協議会

「やまゆり」の里づくり

大和駅周辺の市民団体「いきいき駅サイト実行委員会」の皆さんと協議会の協働による「やまゆりの里づくり」事業を紹介しました。市の花「やまゆり」の球根を毎年秋に植え付け、いつか「やまゆりの里」を実現したいという夢が広がっていました。



大好きおおたネットワーク

「赤レンガと銀杏まつり」と「愛子おばあちゃんひょうたんランプ」

平成6年から「旧町屋愛電所」の建物を保存活用することから始まった河内の文化遺産を守る会のこれまでの活動内容を紹介しました。会の中心イベント「赤レンガと銀杏まつり」や愛子おばあちゃんひょうたんランプの工芸品も紹介しました。



大好き美浦村ネットワーク協議会

霞ヶ浦のほとり

「馬掛」からの霞ヶ浦眺望

日本第二の大きさを誇る「霞ヶ浦」の恵みと「馬掛」について、歴史をひもとくながら紹介しました。茨城の百選などにも選ばれた「馬掛不動」や国史跡指定の「陸平貝塚」も紹介しました。



こんにちは！

大好き いばらき 県民会議です

私たちの活動を
ご紹介します！

平成7年9月設立… みんなで力を合わせ、誰もが 大好きといえる
いばらきをつくっていく運動が県民運動。
この運動を推進するために「大好き いばらき
県民会議」は設立されました。

やさしさとふれあい
のある茨城づくりを
めざします！

新しい茨城のイメー
ジを県内外に伝え、
広めます！

互いの活動を理解し
認め合って、県民運
動を推進します！

福祉社会づくり

誰もが健やかに暮らせるやすらぎに
満ちた茨城づくりを進める運動です。

- ・子育て支援のイベント等を実施

生活環境づくり

豊かさを実感できる安全安心で快適
な生活環境づくりを進める運動です。

- ・花と緑の環境美化コンクール
- ・茨城県交通安全県民大会
- ・ひめま流域クリーン作戦 等

人づくり

個性と創造性に富む心豊かな人づく
りに貢献する運動です。

- ・大好きいばらき 作文コンクール
- ・いばらき教育の日

茨城の風土づくり

過去、現在、未来をつなぐ新しい茨
城の風土づくりを進める運動です。

- ・大好きいばらき ふれあいまつり
- ・あいさつ・声かけ運動の実施 等
- ・ネットワークによる県民運動の推進





私が選ぶ ふるさと自慢

ご自由にお書きください

自慢するもの

()

場 所

()

内 容

皆さんのふるさと自慢を大好き いばらき 県民会議のホームページでご紹介いたします。
ぜひ、郵送または電子メールにより写真を添付してお送り下さい。
(本シートはホームページ上でダウンロード出来ます。)

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/> E-Mail. info@daisuki-ibaraki.jp



大好きいばらき 県民会議

茨城県生活環境部生活文化課県民運動推進室

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F

TEL. 029-224-8120 FAX. 029-233-0030

URL. <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>

ブログ <http://d.hatena.ne.jp/daisukiibaraki/>

E-Mail. info@daisuki-ibaraki.jp